
受動喫煙に関する都民の意識調査

報 告 書

令和 5 年 1 2 月

<目次>

I 調査の概要	2
1. 調査の目的	3
2. 調査の方法	3
3. インターネット調査の実施期間	3
4. 調査対象	3
5. 調査結果を見る上での注意事項	4
II 回答者の属性	5
(1) 性別	6
(2) 年代	6
(3) 居住地	7
(4) 婚姻状況	8
(5) 子どもの有無	8
(6) 職業	9
III 質問事項と集計結果	10
Q1 紙巻きたばこの喫煙状況	11
Q2 加熱式たばこの喫煙状況	13
【参考】「紙たばこ」「加熱式たばこ」喫煙状況	15
	16
Q3 禁煙意向(1)	17
(1)紙たばこ喫煙者	17
Q3 禁煙意向(2)	19
(2)加熱式たばこ喫煙者	19
【参考】禁煙意向の有無(「紙たばこ」「加熱式たばこ」合算)	21
Q3-1 禁煙の理由	23
Q3-2 禁煙の方法	25
Q4 COPDの認知度	27
Q4-1 COPD原因	29
Q4-2 COPD死者数認知度	31
Q4-3 COPD認知広報媒体	33

Q 5 受動喫煙が健康に影響することの認知度	35
Q 6 受動喫煙の経験状況	37
【参考】 受動喫煙の経験状況（喫煙者）	39
【参考】 受動喫煙の経験状況（非喫煙者）	41
Q 6-1 受動喫煙の経験地域	43
Q 6-2 受動喫煙の経験場所（屋内）	45
Q 6-3 受動喫煙の経験場所（屋外）	47
【参考】 受動喫煙の経験場所（屋内・屋外）	49
Q 7 他人のたばこの煙の感じ方	51
Q 8 加熱式たばこの受動喫煙リスク	53
Q 9 第一種施設屋内禁煙の認知度	55
Q 10 学校等敷地内禁煙の認知度	57
Q 11 飲食店における原則屋内禁煙の認知度	59
Q 12 2人以上利用施設における原則屋内禁煙の認知度	61
Q 12-2 屋内等における受動喫煙の配慮義務の認知度	63
Q 13 飲食店を含む2人以上利用施設における喫煙室・禁煙標識表示義務化の認知度	65
Q 13-2 屋内全面禁煙の飲食店における禁煙標識掲示義務の認知度	67
Q 14 飲食店頭の表示（「喫煙室の有無」「禁煙」等）の認知度	69
Q 15 飲食店頭表示（「喫煙室の有無」「禁煙」等）の参考度合	71
Q 16 法律・条例違反が指導・過料等の対象となることの認知度	73
Q 17 受動喫煙対策の認知度	75
Q 18 都の受動喫煙防止条例周知広報の認知度	77
Q 19 都の受動喫煙防止条例に対する評価	81
Q 20 都の受動喫煙防止条例規制前後と比較した受動喫煙機会の変化	83
Q 19-2 都の受動喫煙防止条例に対する評価の理由	85
(1)都の受動喫煙防止条例を「良い取組だと思う」「やや良い取組だと思う」と評価した回答者	85
(2)都の受動喫煙防止条例を「良くない取組だと思う」「あまり良くない取組だと思う」と評価した回答者	87
Q 21 都の受動喫煙防止条例に対する意見・要望	88
<参考（調査票）>	91

I 調査の概要

1. 調査の目的

受動喫煙対策を推進し、誰もが快適に過ごせる街を実現するため、改正健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例が、令和2年4月1日に全面施行された。そこで、改正健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例の施行後の都民の受動喫煙対策の認知度や実態を把握し、今後の取組に活かすため、調査を行った。

2. 調査の方法

インターネット調査

3. インターネット調査の実施期間

令和5年11月1日～同年11月8日

4. 調査対象

東京都内に住所を有する満20歳～79歳の男女計3,000名を、令和2年国勢調査による東京都の「①性・年代別の人口構成」「②地域別の人口構成」に沿って抽出した結果、回答者の構成は以下となった。

①性・年代別の人口構成

性別	年代	人口からの構成比	調査での構成比
男性	20代	8.1%	8.0%
	30代	9.1%	9.1%
	40代	10.6%	10.6%
	50代	9.3%	9.3%
	60代	6.5%	6.5%
	70代	6.2%	6.2%
女性	20代	8.2%	8.1%
	30代	8.9%	8.9%
	40代	10.3%	10.3%
	50代	8.9%	8.9%
	60代	6.5%	6.5%
	70代	7.3%	7.3%
回答しない	20代	-	0.3%
	30代	-	0.0%
	合計	100.0%	100.0%

②地域別の人口構成

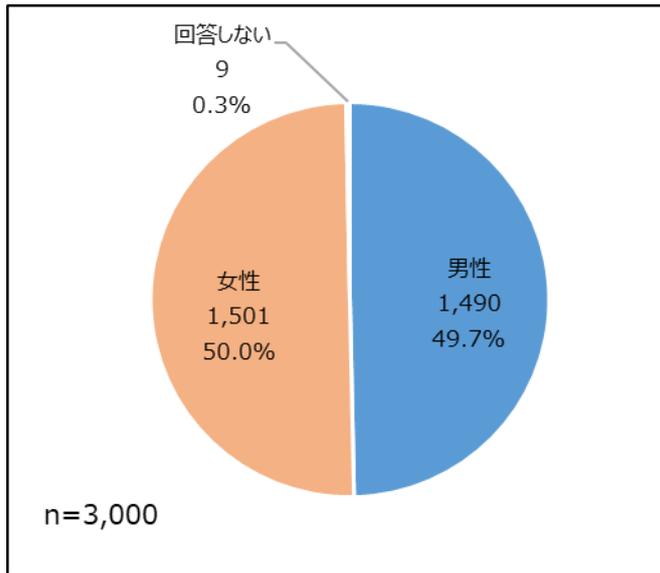
地域	人口からの構成比	調査での構成比
1:区中央部（千代田区、中央区、港区、文京区、台東区）	6.7%	6.8%
2:区南部（品川区、大田区）	8.3%	8.4%
3:区西南部（目黒区、世田谷区、渋谷区）	10.5%	10.4%
4:区西部（新宿区、中野区、杉並区）	9.2%	9.1%
5:区西北部（豊島区、北区、板橋区、練馬区）	14.2%	14.2%
6:区東北部（荒川区、足立区、葛飾区）	9.7%	9.7%
7:区東部（墨田区、江東区、江戸川区）	10.6%	10.7%
8:西多摩（青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町）	2.7%	2.7%
9:南多摩（八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市）	10.3%	10.2%
10:北多摩西部（立川市、昭島市、国分寺市、国立市、東大和市、武蔵村山市）	4.7%	4.7%
11:北多摩南部（武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市）	7.6%	7.6%
12:北多摩北部（小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市）	5.3%	5.3%
13:島しょ（大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村）	0.2%	0.2%
合計	100.0%	100.0%

5. 調査結果を見る上での注意事項

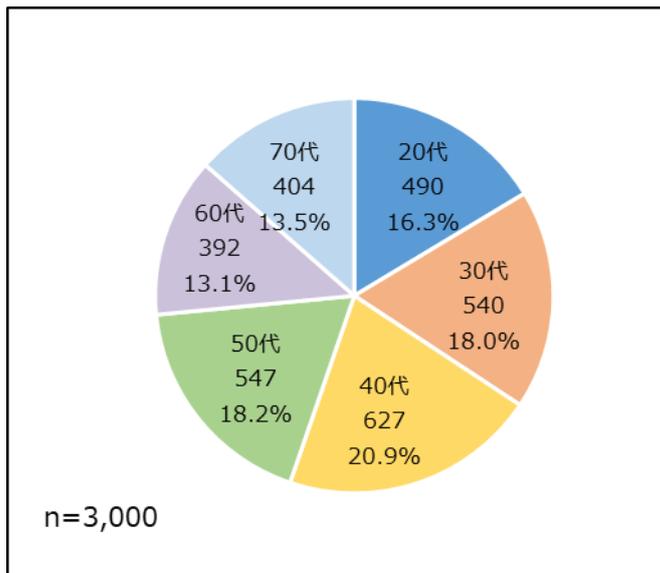
- ・パーセンテージ表記は、小数点以下第2位を端数処理（四捨五入）しているため、各項目の合計が100%とならない場合がある。
- ・複数回答の質問の場合は、その回答比率の合計が100%とならない場合がある。
- ・回答者が30名未満の場合は、その属性を持つ回答者群の実態が集計結果に反映されていない可能性が高いことから、原則言及していない。
- ・同趣旨の回答選択肢を集約して表記する場合は『 』で示した。
- ・本文中、数表及び図表に記載する「n」は、比率計算上の基数（標本数）である。
- ・調査票の選択肢の文章が長い場合、要約して短く表現している場合がある。

Ⅱ 回答者の属性

(1) 性別



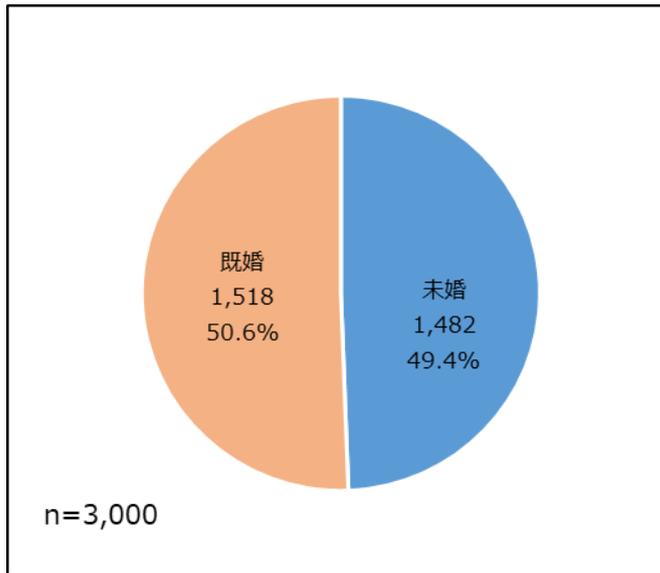
(2) 年代



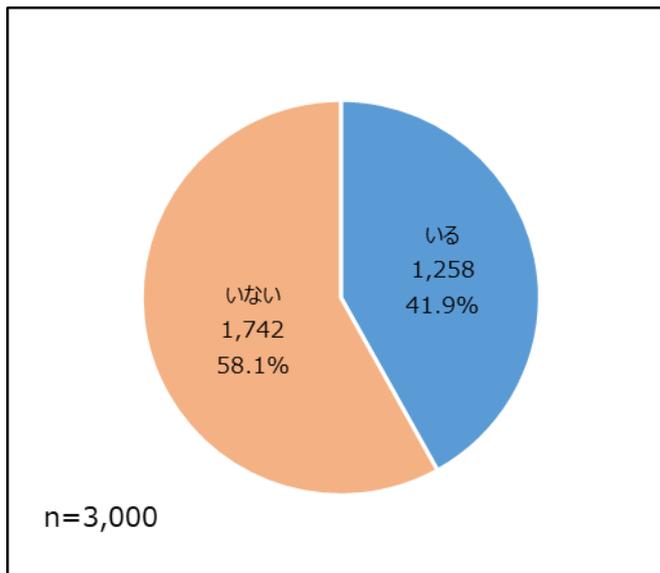
(3) 居住地

項目	件数	%
区中央部（千代田区、中央区、港区、文京区、台東区）	203	6.8%
区南部（品川区、大田区）	252	8.4%
区西南部（目黒区、世田谷区、渋谷区）	313	10.4%
区西部（新宿区、中野区、杉並区）	273	9.1%
区西北部（豊島区、北区、板橋区、練馬区）	426	14.2%
区東北部（荒川区、足立区、葛飾区）	292	9.7%
区東部（墨田区、江東区、江戸川区）	320	10.7%
西多摩（青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町）	80	2.7%
南多摩（八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市）	307	10.2%
北多摩西部（立川市、昭島市、国分寺市、国立市、東大和市、武蔵村山市）	142	4.7%
北多摩南部（武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市）	228	7.6%
北多摩北部（小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市）	159	5.3%
島しょ（大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村）	5	0.2%
合計	3,000	100.0%

(4) 婚姻状況



(5) 子どもの有無



(6) 職業

項目	件数	%
会社員（事務系）	721	24.0%
会社員（技術系）	291	9.7%
会社員（その他）	277	9.2%
経営者・役員	69	2.3%
自営業	142	4.7%
自由業	80	2.7%
公務員	64	2.1%
専業主婦（主夫）	442	14.7%
パート・アルバイト	393	13.1%
学生	78	2.6%
その他	27	0.9%
無職	416	13.9%
合計	3,000	100.0%

Ⅲ 質問事項と集計結果

Q 1 紙巻きたばこの喫煙状況

Q 1 あなたは、「たばこ（加熱式たばこ※を除く。紙巻きたばこ、葉巻、水たばこ等）」を吸いますか。

※「加熱式たばこ」とは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を燃焼させず、専用機器を用いて電気で加熱することで煙を発生させるもの。加熱の方法や温度などは製品ごとに異なります。例：アイコス、グロー、プルーム・テック等（電子タバコは含みません）

※ここでの喫煙・非喫煙は「紙巻きたばこ」「加熱式たばこ」いずれについても以下とした。（以下、同じ。）

・『喫煙者』：「毎日吸っている」「ときどき吸う日がある」とした回答者

・『非喫煙者』：「以前は吸っていたが1か月以上吸っていない」「吸わない」とした回答者

【全体】

○紙巻きたばこ（以下では、紙たばことする）の『喫煙者』は、16.4%（「毎日吸っている」14.5%と「ときどき吸う日がある」1.9%の合計）であった。「吸わない」が67.4%と多く、「以前は吸っていたが1か月以上吸っていない」16.2%と合わせると、『非喫煙者』は、83.6%となった。

【性別】

○紙たばこの『喫煙者』は、男性24.0%に対して女性8.9%と、2倍以上の差がある。

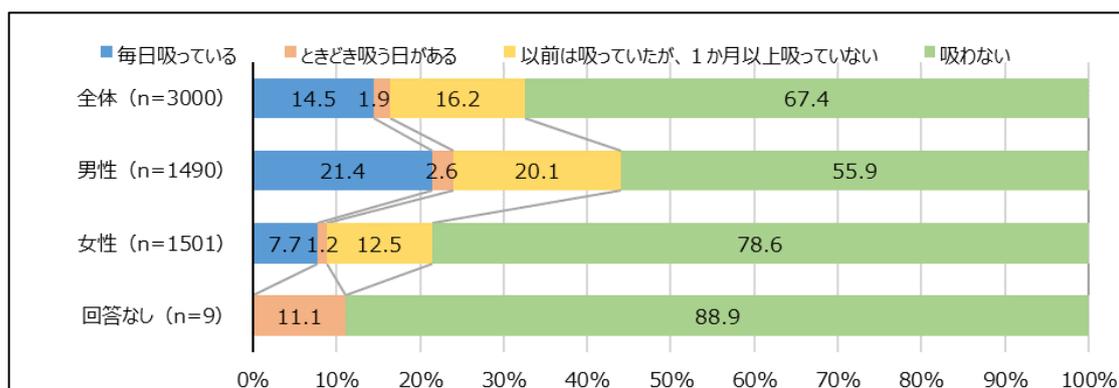
【男性年代別】

○紙たばこの『喫煙者』は、60代で28.1%と最も多く、次いで、40代・50代は27.1%、20代・30代は20%前後、70代は17.3%と最も少なくなっている。

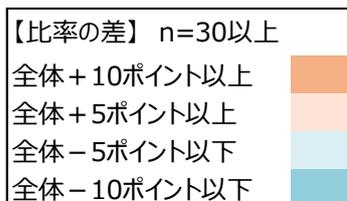
【女性年代別】

○紙たばこの『喫煙者』は、40代～60代で10～12%程に対して、20代・30代で5%台と約半分の割合で、特に「毎日吸っている」が4%を下回っている。

Q 1 「紙巻きたばこの喫煙状況」のグラフと集計表



	n数	毎日吸っている	ときどき吸う日がある	以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない	吸わない
全体	3000	14.5	1.9	16.2	67.4
男性	1490	21.4	2.6	20.1	55.9
女性	1501	7.7	1.2	12.5	78.6
回答なし	9	0.0	11.1	0.0	88.9
男性20代	240	14.6	6.3	6.3	72.9
男性30代	272	19.1	2.6	11.4	66.9
男性40代	317	24.3	2.8	22.7	50.2
男性50代	280	26.4	0.7	22.9	50.0
男性60代	196	26.5	1.5	26.0	45.9
男性70代	185	15.7	1.6	35.7	47.0
女性20代	242	3.3	2.1	6.6	88.0
女性30代	267	3.7	1.9	11.2	83.1
女性40代	310	10.6	0.6	13.2	75.5
女性50代	267	10.1	1.9	13.9	74.2
女性60代	196	10.2	0.0	15.8	74.0
女性70代	219	8.2	0.5	14.6	76.7
回答なし20代	8	0.0	12.5	0.0	87.5
回答なし30代	1	0.0	0.0	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	71.1	9.5	9.6	9.8
(※) 非喫煙者	2388	0.0	0.0	17.9	82.1
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	68.2	9.8	12.7	9.3
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	75.7	8.9	4.7	10.6
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	0.0	0.0	19.7	80.3
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	0.0	0.0	16.3	83.7



Q 2 加熱式たばこの喫煙状況

Q2 あなたは、「加熱式たばこ※」を吸いますか。

※「加熱式たばこ」とは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を燃焼させず、専用機器を用いて電気で加熱することで煙を発生させるもの。加熱の方法や温度などは製品ごとに異なります。例：アイコス、グロー、プルーム・テック等（電子タバコは含みません）

【全体】

○加熱式たばこの『喫煙者』は 11.7%で、『非喫煙者』が 88.3%とおよそ 9 割を占めた。

【性別】

○加熱式たばこの『喫煙者』は、男性 17.3%に対して女性 6.2%と、3 倍近くの差がある。

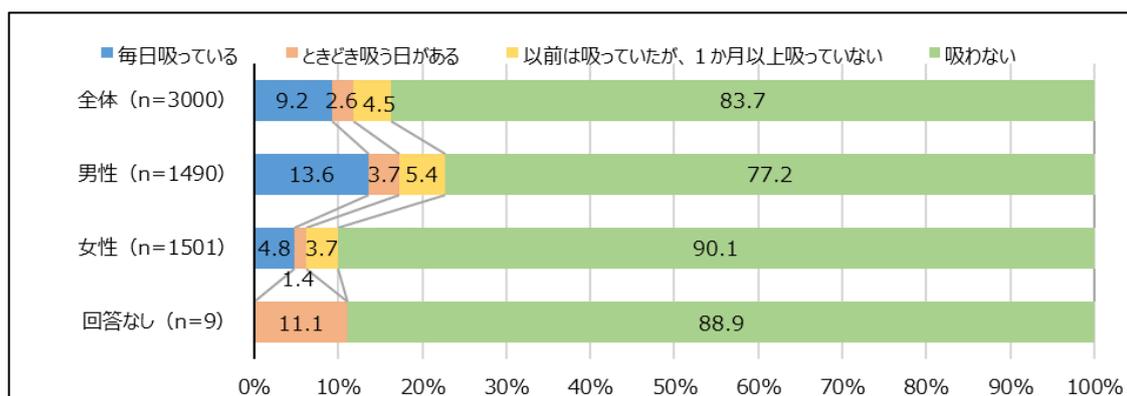
【男性年代別】

○加熱式たばこの『喫煙者』は、40 代が 23.7%と最も多いが、年代が上がると減少し 50 代 20.0%、60 代 14.3%、70 代は急減し 2.7%と最も少なくなった。20 代・30 代は 20%以下だった。

【女性年代別】

○加熱式たばこの『喫煙者』は、40 代が 10.0%と最も多いが、年代が上がると減少し 50 代 7.5%、60 代 4.6%、70 代は 2.3%と最も少なくなった。20 代・30 代は 5%前後だった。

Q 2 「加熱式たばこの喫煙状況」のグラフと集計表



	n数	毎日吸っている	ときどき吸う日がある	以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない	吸わない
全体	3000	9.2	2.6	4.5	83.7
男性	1490	13.6	3.7	5.4	77.2
女性	1501	4.8	1.4	3.7	90.1
回答なし	9	0.0	11.1	0.0	88.9
男性20代	240	12.9	6.3	3.3	77.5
男性30代	272	12.5	5.1	6.3	76.1
男性40代	317	20.8	2.8	5.4	71.0
男性50代	280	17.1	2.9	5.4	74.6
男性60代	196	10.7	3.6	6.6	79.1
男性70代	185	1.6	1.1	5.9	91.4
女性20代	242	4.1	0.8	5.4	89.7
女性30代	267	3.7	2.2	4.1	89.9
女性40代	310	8.7	1.3	3.2	86.8
女性50代	267	5.2	2.2	4.9	87.6
女性60代	196	4.1	0.5	2.6	92.9
女性70代	219	1.4	0.9	1.4	96.3
回答なし20代	8	0.0	12.5	0.0	87.5
回答なし30代	1	0.0	0.0	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	44.9	12.6	6.0	36.4
(※) 非喫煙者	2388	0.0	0.0	4.1	95.9
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	50.1	13.3	5.8	30.8
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	36.6	11.5	6.4	45.5
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	0.0	0.0	5.4	94.6
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	0.0	0.0	3.0	97.0

【比率の差】 n=30以上

全体 + 10ポイント以上	■
全体 + 5ポイント以上	■
全体 - 5ポイント以下	■
全体 - 10ポイント以下	■

【参考】「紙たばこ」「加熱式たばこ」喫煙状況

Q 1・Q 2での回答（「紙たばこ」「加熱式たばこ」の喫煙状況）を「どちらも喫煙」「紙たばこのみ喫煙」「加熱式たばこのみ喫煙」「どちらも非喫煙」に4分類し、喫煙たばこ別の喫煙状況を見た。

【全体】

○『喫煙者』は20.4%（「どちらも喫煙」もしくは「紙」のみ喫煙、「加熱式」のみ喫煙の合計。以下、同じ。）、「どちらも非喫煙」はおよそ8割の79.6%となっている。

【性別】

○『喫煙者』は、男性29.3%に対して女性は11.7%と、2倍以上の差がある。

○喫煙たばこ別の割合は、いずれについても男性が女性より多い。

【男性年代別】

○『喫煙者』は20代が23.3%で、年代が上がるにつれ増加し、50代では最も多く36.1%、その後は減少し60代32.7%、70代は18.4%となっている。

○『喫煙者』の内訳をみると、20代～40代は「どちらも喫煙」が、50代～70代は「紙のみ喫煙」が多い。

○「どちらも非喫煙」が40代～60代は60%台と他の年代より低くなっている。

【女性年代別】

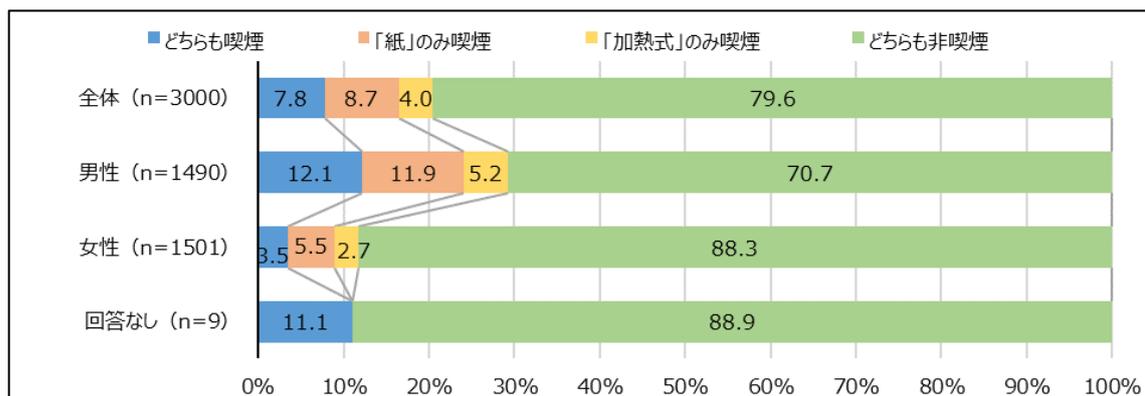
○『喫煙者』は、40代が最も多く16.1%でそこから年代が上がると減少し、70代は9.1%まで減少した。

○「どちらも非喫煙」が20代・30代、70代は9割を占めた。

【喫煙者】

○喫煙者において「紙」のみ喫煙が最も多く42.5%、「どちらも喫煙」は38.1%、「加熱式」のみ喫煙は19.4%であった。

【参考】「紙たばこ」「加熱式たばこ」喫煙状況」のグラフと集計表



	n数	どちらも喫煙	「紙」のみ喫煙	「加熱式」のみ喫煙	どちらも非喫煙
全体	3000	7.8	8.7	4.0	79.6
男性	1490	12.1	11.9	5.2	70.7
女性	1501	3.5	5.5	2.7	88.3
回答なし	9	11.1	0.0	0.0	88.9
男性20代	240	16.7	4.2	2.5	76.7
男性30代	272	13.2	8.5	4.4	73.9
男性40代	317	16.1	11.0	7.6	65.3
男性50代	280	11.1	16.1	8.9	63.9
男性60代	196	9.7	18.4	4.6	67.3
男性70代	185	1.6	15.7	1.1	81.6
女性20代	242	3.3	2.1	1.7	93.0
女性30代	267	3.0	2.6	3.0	91.4
女性40代	310	5.2	6.1	4.8	83.9
女性50代	267	3.7	8.2	3.7	84.3
女性60代	196	3.1	7.1	1.5	88.3
女性70代	219	1.8	6.8	0.5	90.9
回答なし20代	8	12.5	0.0	0.0	87.5
回答なし30代	1	0.0	0.0	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	38.1	42.5	19.4	0.0
(※) 非喫煙者	2388	-	-	0.0	100.0
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	41.4	36.6	22.0	0.0
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	32.8	51.9	15.3	0.0
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	-	-	0.0	100.0
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	-	-	0.0	100.0

【比率の差】 n=30以上	
全体 + 10ポイント以上	■ (Dark Orange)
全体 + 5ポイント以上	■ (Light Orange)
全体 - 5ポイント以下	■ (Light Blue)
全体 - 10ポイント以下	■ (Dark Blue)

Q3 禁煙意向 (1)

Q3 Q1・Q2 のいずれか、または両方で、「毎日吸っている」または「ときどき吸う日がある」と回答した方にお尋ねします。あなたは、今後、禁煙するつもりはありますか。

(1)紙たばこ喫煙者

【全体】

○紙たばこの喫煙者に占める『禁煙意向あり』の割合は 48.5%（「禁煙する予定がある（時期も決まっている）」7.9%、「いつか禁煙するつもりがある（時期は決まっていない）」40.6%の合計。以下、同じ。）であった。

【性別】

○紙たばこの喫煙者に占める『禁煙意向あり』は、女性は 59.0%と、男性の 44.4%より 10 ポイント以上高い。

【男性年代別】

○紙たばこの喫煙者に占める『禁煙意向あり』の割合は、20～30 代では半数を超えているが、40～70 代は半数を下回り、40 代は 37.2%と最も少ない。『禁煙意向あり』の内訳をみると、20 代の「禁煙する予定がある」が 22.0%と他の年代と比べて高くなっている。

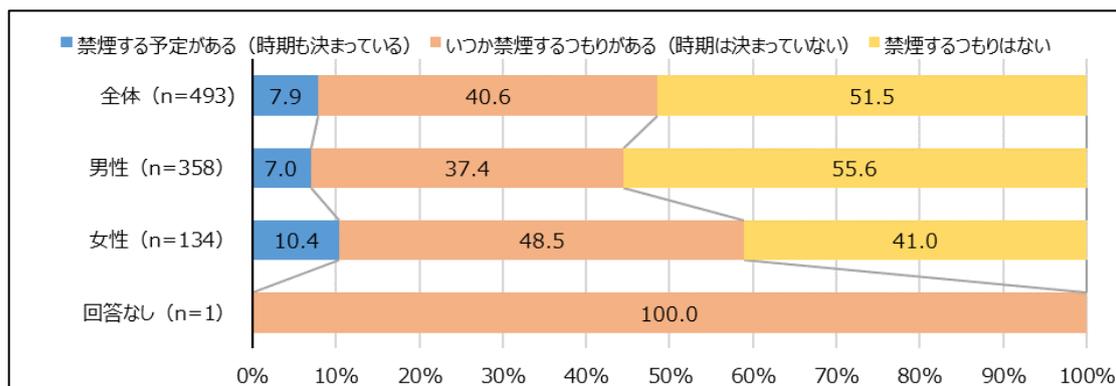
【女性年代別】

○回答者 30 名未満の年代が多いため言及が難しい。

【受動喫煙経験の有無別】

○『禁煙意向あり』の割合は、「受動喫煙経験あり」が 51.0%で、「受動喫煙経験なし」の 44.7%より 6.3 ポイント高い。

Q 3 「禁煙意向（1）」のグラフと集計表



	n数	禁煙する予定がある（時期も決まっている）	いつか禁煙するつもりがある（時期は決まっていない）	禁煙するつもりはない
全体	493	7.9	40.6	51.5
男性	358	7.0	37.4	55.6
女性	134	10.4	48.5	41.0
回答なし	1	0.0	100.0	0.0
男性20代	50	22.0	34.0	44.0
男性30代	59	10.2	40.7	49.2
男性40代	86	7.0	30.2	62.8
男性50代	76	1.3	38.2	60.5
男性60代	55	1.8	43.6	54.5
男性70代	32	0.0	43.8	56.3
女性20代	13	46.2	38.5	15.4
女性30代	15	20.0	26.7	53.3
女性40代	35	5.7	48.6	45.7
女性50代	32	6.3	56.3	37.5
女性60代	20	0.0	55.0	45.0
女性70代	19	5.3	52.6	42.1
回答なし20代	1	0.0	100.0	0.0
回答なし30代	0	-	-	-
(※) 喫煙者	493	7.9	40.6	51.5
(※) 非喫煙者	0	-	-	-
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	294	9.9	41.2	49.0
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	199	5.0	39.7	55.3
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	0	-	-	-
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	0	-	-	-

【比率の差】 n=30以上	
全体+10ポイント以上	■
全体+5ポイント以上	■
全体-5ポイント以下	■
全体-10ポイント以下	■

Q 3 禁煙意向 (2)

Q3 Q1・Q2 のいずれか、または両方で、「毎日吸っている」または「ときどき吸う日がある」と回答した方にお尋ねします。あなたは、今後、禁煙するつもりはありますか。

(2)加熱式たばこ喫煙者

【全体】

○加熱式たばこの喫煙者に占める『禁煙意向あり』の割合は 50.3%（「禁煙する予定がある（時期も決まっている）」10.8%、「いつか禁煙するつもりがある（時期は決まっていない）」39.5%の合計。以下、同じ。）であった。

【性別】

○加熱式たばこの喫煙者に占める『禁煙意向あり』の割合は、女性が 60.2%で、男性の 46.5%より 13.7 ポイント高い。

【男性年代別】

○加熱式たばこの喫煙者に占める『禁煙意向あり』の割合は、30 代が 62.5%と最も高く、そこから年代が上がるにつれ減少していくが、70 代で 60.0%と再び増加している。20 代は「禁煙する予定がある」が 21.7%と最も多かった。

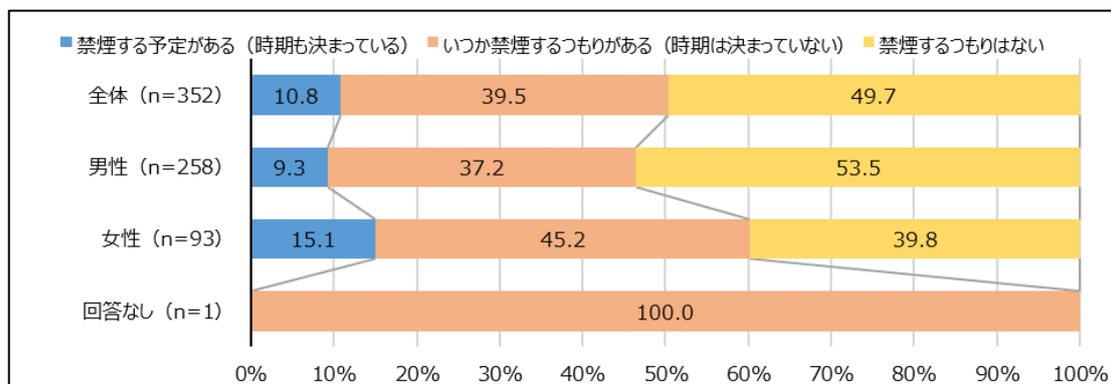
【女性年代別】

○回答者 30 名未満の年代が多いため言及が難しい。

【受動喫煙経験の有無別】

○『禁煙意向あり』割合は、「受動喫煙経験あり」が 52.3%で、「受動喫煙経験なし」の 46.0%より 6.3 ポイント高い。

Q 3 「禁煙意向（2）」のグラフと集計表



	n数	禁煙する予定がある（時期も決まっている）	いつか禁煙するつもりがある（時期は決まっていない）	禁煙するつもりはない
全体	352	10.8	39.5	49.7
男性	258	9.3	37.2	53.5
女性	93	15.1	45.2	39.8
回答なし	1	0.0	100.0	0.0
男性20代	46	21.7	34.8	43.5
男性30代	48	14.6	47.9	37.5
男性40代	75	8.0	32.0	60.0
男性50代	56	1.8	35.7	62.5
男性60代	28	0.0	35.7	64.3
男性70代	5	0.0	60.0	40.0
女性20代	12	41.7	33.3	25.0
女性30代	16	18.8	43.8	37.5
女性40代	31	9.7	45.2	45.2
女性50代	20	10.0	50.0	40.0
女性60代	9	0.0	66.7	33.3
女性70代	5	20.0	20.0	60.0
回答なし20代	1	0.0	100.0	0.0
回答なし30代	0	-	-	-
(※) 喫煙者	352	10.8	39.5	49.7
(※) 非喫煙者	0	-	-	-
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	239	12.1	40.2	47.7
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	113	8.0	38.1	54.0
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	0	-	-	-
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	0	-	-	-

【比率の差】 n=30以上	
全体+10ポイント以上	（濃いオレンジ色）
全体+5ポイント以上	（薄いオレンジ色）
全体-5ポイント以下	（薄い青色）
全体-10ポイント以下	（濃い青色）

【参考】 禁煙意向の有無（「紙たばこ」「加熱式たばこ」合算）

【参考】 紙たばこ・加熱式たばこそれぞれの喫煙者のQ 3 (1)(2)における回答を以下に2分類して合算集計した。

- ・「禁煙する予定がある」「いつか禁煙するつもりがある」 → 禁煙意向あり
- ・「禁煙するつもりはない」 → 禁煙意向なし

【全体】

○喫煙者に占める『禁煙意向あり』割合は 48.5%であった。

【性別】

○『禁煙意向あり』は女性が 57.7%で、男性の 44.7%より 13.0 ポイント高い。

【男性年代別】

○『禁煙意向あり』は 20 代・30 代が 50%台、60 代・70 代は 40%台、40 代・50 代は 30%台だった。

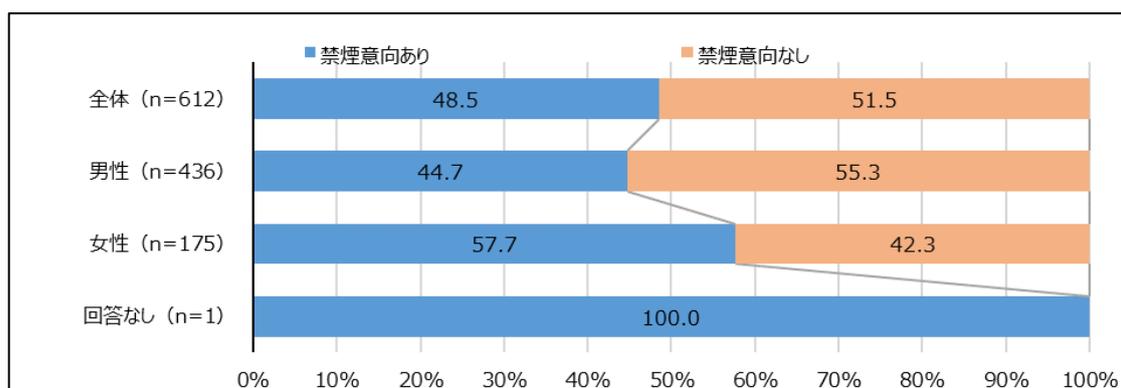
【女性年代別】

○回答者 30 名未満の年代が多いため言及が難しい。

【受動喫煙経験の有無別】

○『禁煙意向あり』割合は、「受動喫煙経験あり」が 51.2%で、「受動喫煙経験なし」の 44.3%より 6.9 ポイント高い。

【参考】「禁煙意向の有無（「紙たばこ」「加熱式たばこ」合算）」のグラフと集計表



	n数	禁煙意向あり	禁煙意向なし
全体	612	48.5	51.5
男性	436	44.7	55.3
女性	175	57.7	42.3
回答なし	1	100.0	0.0
男性20代	56	57.1	42.9
男性30代	71	54.9	45.1
男性40代	110	38.2	61.8
男性50代	101	37.6	62.4
男性60代	64	43.8	56.3
男性70代	34	47.1	52.9
女性20代	17	76.5	23.5
女性30代	23	52.2	47.8
女性40代	50	56.0	44.0
女性50代	42	57.1	42.9
女性60代	23	56.5	43.5
女性70代	20	55.0	45.0
回答なし20代	1	100.0	0.0
回答なし40代	0	-	-
(※) 喫煙者	612	48.5	51.5
(※) 非喫煙者	0	-	-
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	51.2	48.8
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	44.3	55.7
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	0	-	-
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	0	-	-

【比率の差】 n=30以上

全体+10ポイント以上	■
全体+5ポイント以上	■
全体-5ポイント以下	■
全体-10ポイント以下	■

Q 3 - 1 禁煙の理由

Q3-1 Q3 で「禁煙する予定がある（時期も決まっている）」または「いつか禁煙するつもりがある（時期は決まっていない）」と回答した方にお尋ねします。禁煙しようと思う理由は何ですか。【複数回答可】

【全体】

- 喫煙者が禁煙意向を持つ理由としては、1位「自分の健康のため」が68.4%と最も多く、次いで2位「たばこ代が高いため」は54.5%で、この2つは半数を超えている。
- この2つに次いで、3位「喫煙できる場所が減ったため」が25.9%、4位「家族・パートナーの健康のため」が18.9%、5位「法律・条例が改正され、屋内が原則禁煙となったため」が16.2%、6位「においが気になるため」が12.5%となっている。

【性別】

- 男女いずれも理由の上位は同様に1位「自分の健康のため」男性70.8%／女性64.4%、2位は「たばこ代が高いため」も、男性55.4%／女性53.5%、その後も3位「喫煙できる場所が減ったため」、男性4位「家族・パートナーの健康のため」も男女に大きな違いはなかった。女性4位の「においが気になるため」は男性9.7%に対して、女性は17.8%と8.1ポイントの差が出ている。

【男性年代別】

- 他の年代と比べて高い項目は、30代「家族・パートナーの健康のため」33.3%、「家族・パートナーにやめるように言われたため」20.5%、40代「たばこ代が高いため」69.0%、「法律・条例が改正され、屋内が原則禁煙となったため」26.2%などであった。
- 他の年代と比べて低い項目は、20代「自分の健康のため」56.3%、20・30代「たばこ代が高いため」37.5%～43.6%、50代「家族・パートナーの健康のため」7.9%、「法律・条例が改正され、屋内が原則禁煙となったため」5.3%などであった。

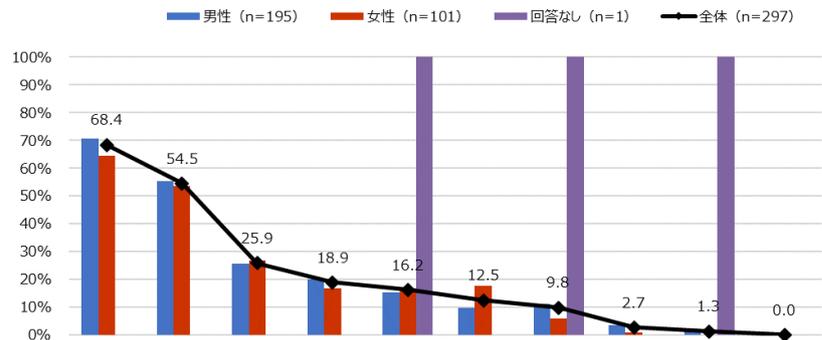
【女性年代別】

- 回答者30名未満のため、言及は難しい。

【受動喫煙経験の有無別】

- 「受動喫煙あり」は「自分の健康のため」が72.0%と最も多く、2位は「たばこ代が高いため」53.9%、3位は「喫煙できる場所が減ったため」30.6%となっている。
- 「受動喫煙なし」は「自分の健康のため」が61.5%、「たばこ代が高いため」が55.8%、「喫煙できる場所が減ったため」が17.3%だった。
- 受動喫煙経験の有無でそれぞれ上位3つの順位に変化はないが、「自分の健康のため」「喫煙できる場所が減ったため」は「受動喫煙あり」の方がやや多くなっている。

Q 3 - 1 「禁煙の理由」のグラフと集計表



※「全体」の降順

	n数	自分の健康のため	たばこ代が高いため	喫煙できる場所が減ったため	家族・パートナーの健康のため	法律・条例が改正され、屋内が原則禁煙となったため	においが気になるため	家族・パートナーにやめるように言われたため	妊娠した・子どもが産まれる(産まれた)ため	職場で禁煙を求められたため	その他
全体	297	68.4	54.5	25.9	18.9	16.2	12.5	9.8	2.7	1.3	0.0
男性	195	70.8	55.4	25.6	20.0	15.4	9.7	11.3	3.6	1.5	0.0
女性	101	64.4	53.5	26.7	16.8	16.8	17.8	5.9	1.0	0.0	0.0
回答なし	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0
男性20代	32	56.3	37.5	25.0	18.8	18.8	3.1	15.6	12.5	0.0	0.0
男性30代	39	69.2	43.6	23.1	33.3	15.4	7.7	20.5	7.7	2.6	0.0
男性40代	42	73.8	69.0	26.2	23.8	26.2	16.7	9.5	0.0	2.4	0.0
男性50代	38	65.8	63.2	28.9	7.9	5.3	13.2	7.9	0.0	2.6	0.0
男性60代	28	89.3	67.9	28.6	10.7	17.9	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0
男性70代	16	75.0	43.8	18.8	25.0	0.0	12.5	6.3	0.0	0.0	0.0
女性20代	13	38.5	23.1	7.7	30.8	30.8	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0
女性30代	12	75.0	33.3	16.7	8.3	8.3	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0
女性40代	28	57.1	64.3	32.1	21.4	21.4	14.3	10.7	0.0	0.0	0.0
女性50代	24	66.7	62.5	20.8	12.5	4.2	16.7	4.2	0.0	0.0	0.0
女性60代	13	76.9	61.5	38.5	15.4	15.4	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0
女性70代	11	81.8	54.5	45.5	9.1	27.3	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0
回答なし20代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0
回答なし30代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(※) 喫煙者	297	68.4	54.5	25.9	18.9	16.2	12.5	9.8	2.7	1.3	0.0
(※) 非喫煙者	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	193	72.0	53.9	30.6	20.7	19.2	15.0	11.9	3.1	1.6	0.0
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	104	61.5	55.8	17.3	15.4	10.6	7.7	5.8	1.9	1.0	0.0
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【比率の差】 n=30以上

全体+10ポイント以上	■
全体+5ポイント以上	■
全体-5ポイント以下	■
全体-10ポイント以下	■

Q 3 - 2 禁煙の方法

Q3-2 Q3 で「禁煙する予定がある（時期も決まっている）」または「いつか禁煙するつもりがある（時期は決まっていない）」と回答した方にお尋ねします。禁煙しようとする場合には、どのような方法で行いますか。あてはまるものを全てお選びください。【複数回答可】

※回答時に「自分の意思のみで行う」とそれ以外の選択肢を複数選択できるようにしていたが、集計においては「自分の意思のみで行う」の件数は「自分の意思のみで行う」のみ回答した者を計上している。

【全体】

- 禁煙意向を持つ回答者の禁煙方法としては、1位「自分の意志のみで行う」が60.6%と突出して多くなっている。
- これ以外の理由は大きく減少していずれも18%未満となるが、2位「飲食物で紛らわせる」が17.8%、3位「薬局で買える禁煙補助剤」が17.2%、と続く。「禁煙アプリ」は5%以下だった。

【性別】

- 「自分の意志のみで行う」が1位で突出して多いが、女性の割合がやや高いものの男女による大きな違いは見られない。
- これに次いで多い理由としては、男性の2位は「飲食物で紛らわせる」で20.5%、女性の2位は「薬局で買える禁煙補助剤」「禁煙外来の受診」の14.9%であった。

【男性年代別】

- 他の年代と比べて特に高い項目は、20代「薬局で買える禁煙補助剤」、30代「飲食物で紛らわせる」「薬局で買える禁煙補助剤」、50代・70代「自分の意志のみで行う」だった。
- 他の年代と比べて特に低い項目は、30代・40代で「自分の意志のみで行う」、60代「薬局で買える禁煙補助剤」、70代「飲食物で紛らわせる」「薬局で買える禁煙補助剤」だった。

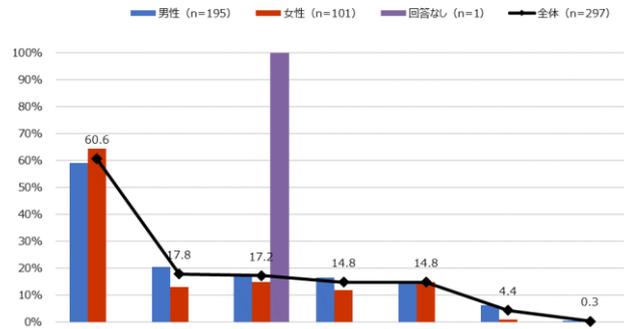
【女性年代別】

- 回答者30名未満のため、言及は難しい。

【受動喫煙経験の有無別】

- 「自分の意志のみで行う」が「受動喫煙経験あり」は54.9%に対して、「受動喫煙経験なし」は71.2%と大きく差が出た。他の方法は「受動喫煙経験なし」よりも「受動喫煙経験あり」の方が多い数字となった。

Q 3-2 「禁煙の方法」のグラフと集計表



※「全体」の降順

	n数	自分の意志のみで行う	飲食物で紛らわせる (飴、ガム、缶コーヒー等)	薬局で買える禁煙補助剤 (ニコチンガム・パッチ等)	禁煙グッズ (離煙パイプ、電子タバコ等)	禁煙外来の受診	禁煙アプリ	その他
全体	297	60.6	17.8	17.2	14.8	14.8	4.4	0.3
男性	195	59.0	20.5	17.9	16.4	14.9	6.2	0.5
女性	101	64.4	12.9	14.9	11.9	14.9	1.0	0.0
回答なし	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性20代	32	59.4	18.8	28.1	12.5	9.4	3.1	0.0
男性30代	39	43.6	33.3	28.2	23.1	12.8	7.7	2.6
男性40代	42	50.0	23.8	23.8	23.8	21.4	7.1	0.0
男性50代	38	71.1	15.8	13.2	10.5	21.1	13.2	0.0
男性60代	28	67.9	14.3	0.0	10.7	10.7	0.0	0.0
男性70代	16	75.0	6.3	0.0	12.5	6.3	0.0	0.0
女性20代	13	53.8	15.4	23.1	7.7	15.4	0.0	0.0
女性30代	12	41.7	33.3	33.3	33.3	25.0	8.3	0.0
女性40代	28	64.3	7.1	14.3	10.7	17.9	0.0	0.0
女性50代	24	75.0	0.0	4.2	12.5	16.7	0.0	0.0
女性60代	13	61.5	30.8	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0
女性70代	11	81.8	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0
回答なし20代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
回答なし30代	0	-	-	-	-	-	-	-
(※) 喫煙者	297	60.6	17.8	17.2	14.8	14.8	4.4	0.3
(※) 非喫煙者	0	-	-	-	-	-	-	-
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	193	54.9	21.2	22.3	17.6	18.1	6.2	0.5
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	104	71.2	11.5	7.7	9.6	8.7	1.0	0.0
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	0	-	-	-	-	-	-	-
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	0	-	-	-	-	-	-	-

【比率の差】 n=30以上	
全体 + 10ポイント以上	■ (濃いオレンジ)
全体 + 5ポイント以上	■ (薄いオレンジ)
全体 - 5ポイント以下	■ (薄い青)
全体 - 10ポイント以下	■ (濃い青)

Q 4 COPD の認知度

Q 4 あなたは、COPD〈シーオーピーディー〉（慢性閉塞性肺疾患〈まんせいへいそくせいはいしっかん〉）※という病気を知っていますか。

※「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」とは、有害物質を長い間吸引したことで肺が壊れる進行性の病気です。「肺気腫」や「慢性気管支炎」と言われていた疾患も、COPD に含まれます。COPD の原因の約 90%は、たばこの煙です。重症化すると、少し動くだけでも息切れしてしまい、酸素吸入が必要になるなど、生活に大きく影響してしまいます。思い当たる点があれば、医療機関を受診しましょう。

【全体】

○「COPD」を『認知している』は 44.9%（「知っている」19.8%、「内容までは知らなかったが、聞いたことがある」25.2%の合計。以下同じ）と半数をやや下回る程度となった。

【性別】

○『認知している』は男性が 44.6%、女性が 45.3%で、男女の差はほとんどみられない。

【男性年代別】

○『認知している』は、50代は 38.9%と最も少なく、60代は 53.6%と最も多くなった。

【女性年代別】

○『認知している』は、20代 36.0%から 60代 53.6%まで、年代とともに多くなる傾向にあるが、70代は 51.6%とやや減少する。20代 30代は「知らない」が 6割を超えてやや多い。

【喫煙者・非喫煙者別】

○『認知している』は喫煙者が 62.6%、非喫煙者が 40.4%と喫煙者の方が 20ポイント程多くなった。

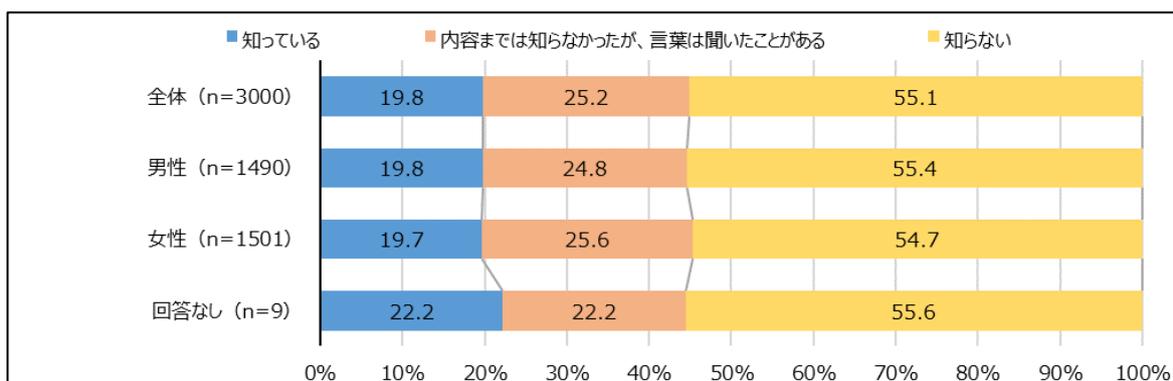
○「知っている」は喫煙者が 32.0%、非喫煙者が 16.6%と倍近くの差が出た。

【受動喫煙経験の有無別】

○『認知している』は、喫煙・非喫煙ともに「受動喫煙経験あり」の方が高く、喫煙者で受動喫煙経験「あり 72.1%／なし 47.2%」、非喫煙者で受動喫煙経験「あり 52.9%／なし 29.6%」となった。

○「知っている」は「喫煙者で受動喫煙あり」が 39.5%、「知らない」は「非喫煙者で受動喫煙なし」が 70.4%がそれぞれ最も多くなった。

Q 4 「COPD の認知度」のグラフと集計表



	n数	知っている	内容までは知らなかったが、言葉は聞いたことがある	知らない
全体	3000	19.8	25.2	55.1
男性	1490	19.8	24.8	55.4
女性	1501	19.7	25.6	54.7
回答なし	9	22.2	22.2	55.6
男性20代	240	17.9	22.1	60.0
男性30代	272	22.4	21.7	55.9
男性40代	317	18.3	28.1	53.6
男性50代	280	16.8	22.1	61.1
男性60代	196	23.5	30.1	46.4
男性70代	185	21.6	25.4	53.0
女性20代	242	17.8	18.2	64.0
女性30代	267	16.1	21.0	62.9
女性40代	310	22.3	24.5	53.2
女性50代	267	19.5	29.6	50.9
女性60代	196	23.0	30.6	46.4
女性70代	219	20.1	31.5	48.4
回答なし20代	8	25.0	25.0	50.0
回答なし30代	1	0.0	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	32.0	30.6	37.4
(※) 非喫煙者	2388	16.6	23.8	59.6
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	39.5	32.6	27.9
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	20.0	27.2	52.8
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	22.4	30.5	47.1
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	11.6	18.0	70.4

【比率の差】 n=30以上

- 全体+10ポイント以上
- 全体+5ポイント以上
- 全体-5ポイント以下
- 全体-10ポイント以下

Q 4 -1 COPD 原因

Q 4 -1 あなたは、長期の喫煙習慣により、COPD（慢性閉塞性肺疾患）になるリスクが高くなることを知っていますか。

【全体】

○長期の喫煙習慣で COPD になるリスクが高くなることを「知っている」は 38.4%と 4 割を下回り、「知らなかった」は 61.6%であった。

【性別】

○「知っている」は男性が 37.9%、女性が 38.9%と、男女の差はほとんどみられない。

【男性年代別】

○「知っている」は 50 代で 31.4%と最も少ないが、60 代になると増加し 48.5%、70 代では 42.7%となった。

【女性年代別】

○「知っている」は、20 代・30 代が 3 割前後、40 代・50 代 が 4 割台前半、60 代・70 代は 4 割台半ばと年代が上がるにつれ増加傾向にある。

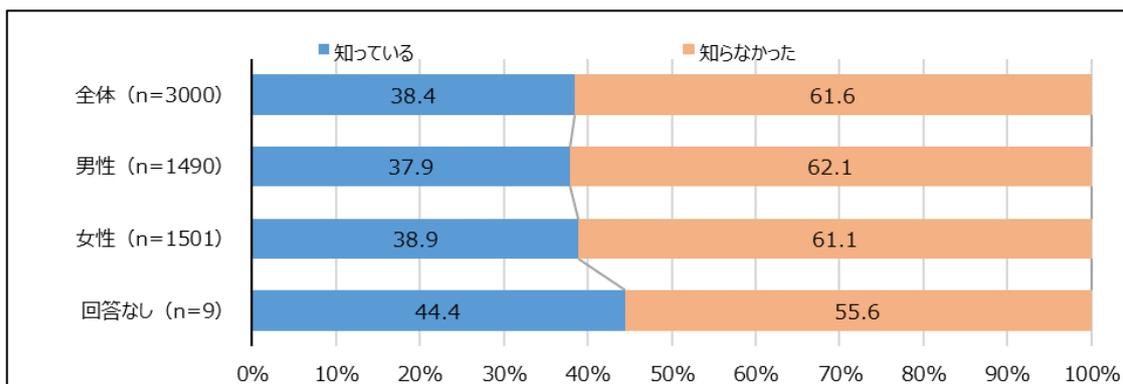
【喫煙者・非喫煙者別】

○「知っている」は喫煙者が 52.1%で、非喫煙者の 34.9%より、17 ポイント程多い。

【受動喫煙経験の有無別】

○「知っている」は、喫煙・非喫煙に関わらず「受動喫煙経験あり」の方が多く、「喫煙者で受動喫煙あり」が 63.9%と最も多く、「非喫煙者で受動喫煙なし」は 25.5%と最も少なかった。

Q 4-1 「COPD 原因」のグラフと集計表



	n数	知っている	知らなかった
全体	3000	38.4	61.6
男性	1490	37.9	62.1
女性	1501	38.9	61.1
回答なし	9	44.4	55.6
男性20代	240	31.7	68.3
男性30代	272	39.7	60.3
男性40代	317	37.5	62.5
男性50代	280	31.4	68.6
男性60代	196	48.5	51.5
男性70代	185	42.7	57.3
女性20代	242	28.5	71.5
女性30代	267	31.5	68.5
女性40代	310	41.3	58.7
女性50代	267	41.6	58.4
女性60代	196	46.4	53.6
女性70代	219	46.1	53.9
回答なし20代	8	50.0	50.0
回答なし30代	1	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	52.1	47.9
(※) 非喫煙者	2388	34.9	65.1
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	63.9	36.1
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	33.2	66.8
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	45.8	54.2
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	25.5	74.5

【比率の差】 n=30以上	
全体 + 10ポイント以上	■
全体 + 5ポイント以上	■
全体 - 5ポイント以下	■
全体 - 10ポイント以下	■

Q 4 -2 COPD 死者数認知度

Q 4 -2 あなたは、日本で、毎年 1 万人を超える方が COPD（慢性閉塞性肺疾患）で亡くなっていること※を知っていますか。

※男性に多い傾向があり、令和 3 年には日本の男性の死因順位の第 9 位でした。（令和 3 年人口動態統計概況）なお、世界でも、1990 年には死因の第 6 位だった COPD が、2019 年には第 3 位になっています。（WHO）

【全体】

○「COPD」が原因で毎年 1 万人超が亡くなっていることを「知っている」は 13.0%、「知らなかった」は 87.0%と知らない人が 8 割以上となった。

【性別】

○「知っている」は男性が 14.0%、女性が 12.1%と、男女の差はほとんどみられない。

【男性年代別】

○「知っている」は 30 代で 20.2%と最も多く、次いで 20 代 16.7%であった。70 代の「知っている」が 9.2%と最も少ない。

【女性年代別】

○「知っている」は 20 代が 15.3%と最も多く、次いで 50 代 12.7%だった。70 代の「知っている」が 9.6%と最も少ない。

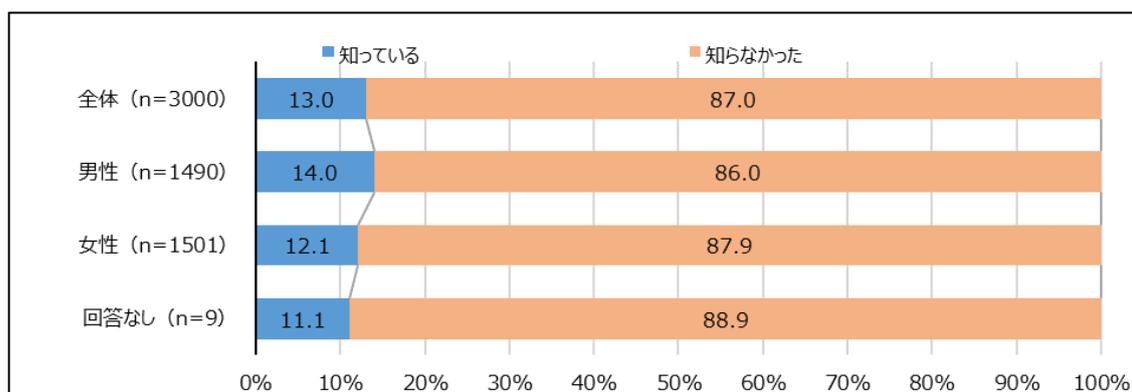
【喫煙者・非喫煙者別】

○「知っている」は喫煙者が 24.0%、非喫煙者が 10.2%と喫煙者の方が倍以上多かった。

【受動喫煙経験の有無別】

○「知っている」は、喫煙・非喫煙に関わらず「受動喫煙経験あり」の方が多く、「喫煙者で受動喫煙経験あり」が 30.5%と最も多く、「非喫煙者で受動喫煙経験なし」は 5.0%と最も少なかった。

Q 4-2 「COPD 死者数認知度」のグラフと集計表



	n数	知っている	知らなかった
全体	3000	13.0	87.0
男性	1490	14.0	86.0
女性	1501	12.1	87.9
回答なし	9	11.1	88.9
男性20代	240	16.7	83.3
男性30代	272	20.2	79.8
男性40代	317	14.2	85.8
男性50代	280	9.6	90.4
男性60代	196	12.8	87.2
男性70代	185	9.2	90.8
女性20代	242	15.3	84.7
女性30代	267	12.0	88.0
女性40代	310	12.3	87.7
女性50代	267	12.7	87.3
女性60代	196	9.7	90.3
女性70代	219	9.6	90.4
回答なし20代	8	12.5	87.5
回答なし30代	1	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	24.0	76.0
(※) 非喫煙者	2388	10.2	89.8
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	30.5	69.5
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	13.6	86.4
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	16.2	83.8
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	5.0	95.0

【比率の差】 n=30以上	
全体+10ポイント以上	■
全体+5ポイント以上	■
全体-5ポイント以下	■
全体-10ポイント以下	■

Q 4 -3 COPD 認知広報媒体

Q 4 -3 Q4 で「知っている」「内容までは知らなかったが、言葉は聞いたことがある」と回答した方にお尋ねします。

あなたは、COPD（慢性閉塞性肺疾患）について、あなたが見たり、聞いたりしたことがあるものについて教えてください。（複数回答可）

【全体】

○「COPD」について見聞きしたことのある媒体は「テレビ」が 64.7%と最も高く、次いで「インターネット・SNS」37.8%、「新聞・雑誌」が 23.1%となった。

【性別】

○男女ともに「テレビ」が 1 位でそれぞれ 62.8%、66.8%である。「インターネット・SNS」もともに 2 位だが、男性 44.0%、女性 31.9%と男性の方が 12 ポイント程多かった。

【男性年代別】

○すべての年代で「テレビ」が 1 位である。

○20 代～40 代は「インターネット・SNS」が、60 代・70 代は「新聞・雑誌」が多くなった。20 代・30 代は「新聞・雑誌」が少ない。

【女性年代別】

○すべての年代で「テレビ」が 1 位で、50 代～70 代は 7 割以上に上った。

○20 代～40 代は「新聞・雑誌」が、50 代～70 代は「インターネット・SNS」が少なかった。

【喫煙者・非喫煙者別】

○「テレビ」は喫煙者 55.9%、非喫煙者 68.2%と非喫煙者の方が 12 ポイント程多かった。

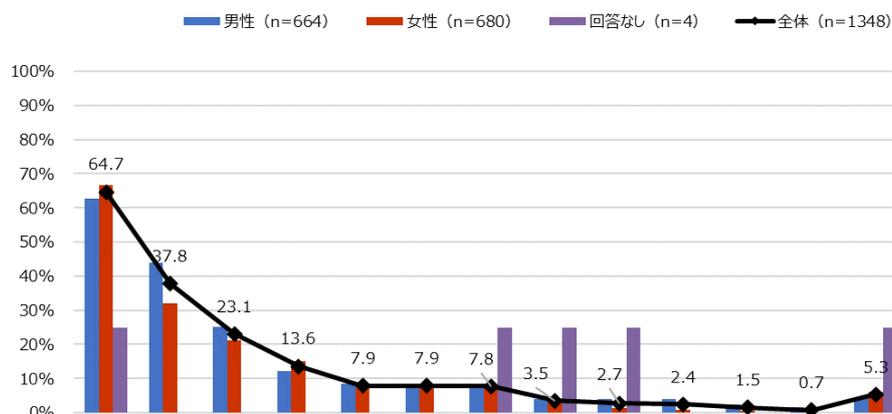
○「インターネット・SNS」は喫煙者 43.1%、非喫煙者 35.6%と喫煙者の方が 8 ポイント程多かった。

【受動喫煙経験の有無別】

○受動喫煙「あり」と「なし」で大きな差はみられないが、「インターネット・SNS」は「喫煙者で受動喫煙あり」が 46.7%に対して、「非喫煙者で受動喫煙なし」は 28.8%と 18 ポイント程減少した。

○「インターネット・SNS」以外では、「喫煙者で受動喫煙あり」が「ポスター」「コンビニのレジ横モニター」で見聞きしたことのある人がやや多い。

Q 4-3 「COPD 認知広報媒体」のグラフと集計表



	n数	テレビ	インターネット・SNS	新聞、雑誌	家族・友人・知人などから聞いた(口コミ)	東京都や区市町村の広報紙	ポスター	チラシ・パンフレット	ラジオ	コンビニエンスストアのレジ横モニター	動画(東京都作成の動画等)	競馬場の屋外ビジョン	床屋の席前モニター	その他
全体	1348	64.7	37.8	23.1	13.6	7.9	7.9	7.8	3.5	2.7	2.4	1.5	0.7	5.3
男性	664	62.8	44.0	25.2	12.2	8.6	8.3	8.1	4.1	3.9	3.9	2.4	1.5	4.4
女性	680	66.8	31.9	21.2	15.1	7.4	7.5	7.4	2.8	1.3	0.9	0.6	0.0	6.0
回答なし	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
男性20代	96	60.4	46.9	11.5	12.5	7.3	7.3	9.4	7.3	7.3	6.3	3.1	2.1	2.1
男性30代	120	64.2	55.8	15.0	10.8	11.7	11.7	10.0	5.8	6.7	5.0	5.8	2.5	5.0
男性40代	147	63.9	49.0	20.4	15.0	8.2	9.5	12.2	4.1	6.1	7.5	3.4	3.4	0.0
男性50代	109	57.8	38.5	22.9	10.1	2.8	6.4	4.6	1.8	1.8	0.0	0.9	0.0	6.4
男性60代	105	68.6	37.1	30.5	12.4	6.7	7.6	2.9	1.9	0.0	1.9	0.0	0.0	9.5
男性70代	87	60.9	31.0	58.6	11.5	16.1	5.7	8.0	3.4	0.0	1.1	0.0	0.0	4.6
女性20代	87	58.6	37.9	11.5	14.9	2.3	9.2	5.7	3.4	2.3	0.0	1.1	0.0	13.8
女性30代	99	61.6	42.4	10.1	12.1	4.0	7.1	5.1	2.0	2.0	0.0	2.0	0.0	7.1
女性40代	145	55.9	38.6	15.9	18.6	5.5	10.3	9.7	2.8	2.8	1.4	0.7	0.0	4.8
女性50代	131	77.9	26.0	18.3	10.7	6.9	4.6	3.8	1.5	0.0	0.8	0.0	0.0	4.6
女性60代	105	72.4	24.8	27.6	15.2	8.6	7.6	8.6	1.9	1.0	1.9	0.0	0.0	1.9
女性70代	113	73.5	23.0	42.5	18.6	15.9	6.2	10.6	5.3	0.0	0.9	0.0	0.0	6.2
回答なし20代	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
回答なし30代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(※) 喫煙者	383	55.9	43.1	18.5	14.1	8.9	10.2	10.7	4.4	5.5	5.5	4.2	2.3	2.3
(※) 非喫煙者	965	68.2	35.6	24.9	13.5	7.6	6.9	6.6	3.1	1.6	1.1	0.4	0.1	6.4
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	272	55.9	46.7	17.6	15.1	9.9	12.9	12.5	3.3	7.7	7.0	5.5	2.9	2.6
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	111	55.9	34.2	20.7	11.7	6.3	3.6	6.3	7.2	0.0	1.8	0.9	0.9	1.8
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	586	69.6	40.1	23.7	14.2	8.2	6.7	6.5	2.9	1.9	1.7	0.5	0.0	6.5
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	379	66.0	28.8	26.6	12.4	6.6	7.4	6.9	3.4	1.1	0.3	0.3	0.3	6.3

【比率の差】 n=30以上	
全体+10ポイント以上	■ (Dark Orange)
全体+5ポイント以上	■ (Light Orange)
全体-5ポイント以下	■ (Light Blue)
全体-10ポイント以下	■ (Dark Blue)

Q5 受動喫煙が健康に影響することの認知度

Q5 あなたは、受動喫煙※が健康に影響することを知っていますか。

※「受動喫煙」とは、他人のたばこの煙を吸わされることをいいます。たばこの煙は、喫煙者が吸い込む主流煙と、火がついている部分から立ちのぼる副流煙、喫煙者が吐き出す呼出煙に分けられ、副流煙と呼出煙を吸い込むことを受動喫煙といいます。中でも、副流煙にはニコチンや一酸化炭素などの有害物質や発がん性物質が主流煙の何倍も含まれています。

【全体】

○受動喫煙が健康に影響することを「知っている」は 72.2%と 7 割を超えた。

【性別】

○「知っている」は男性が 68.9%、女性が 75.5%と女性が若干多い。

【男性年代別】

○「知っている」は 20 代～50 代が 60%台、60 代が 76.0%、70 代は最も高く 80.5%であった。

【女性年代別】

○「知っている」は 30 代以上で 7 割、60 代・70 代は 8 割超となった。一方で 20 代は 67.4%と最も少なかった。

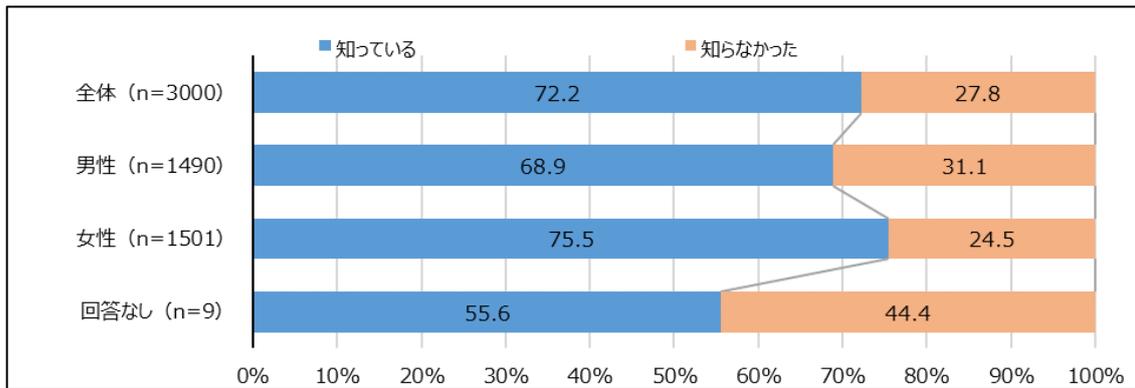
【喫煙者・非喫煙者別】

○「知っている」は喫煙者が 75.0%、非喫煙者が 71.4%であった。

【受動喫煙経験の有無別】

○「知っている」は、喫煙・非喫煙に関わらず「受動喫煙経験あり」が 8 割以上であるが、「受動喫煙経験なし」ではいずれも 5 割半ば、6 割に満たない程度まで減少する。

Q5 「受動喫煙が健康に影響することの認知度」のグラフと集計表



	n数	知っている	知らなかった
全体	3000	72.2	27.8
男性	1490	68.9	31.1
女性	1501	75.5	24.5
回答なし	9	55.6	44.4
男性20代	240	64.6	35.4
男性30代	272	63.6	36.4
男性40代	317	66.2	33.8
男性50代	280	68.2	31.8
男性60代	196	76.0	24.0
男性70代	185	80.5	19.5
女性20代	242	67.4	32.6
女性30代	267	70.0	30.0
女性40代	310	72.6	27.4
女性50代	267	78.7	21.3
女性60代	196	82.7	17.3
女性70代	219	84.9	15.1
回答なし20代	8	62.5	37.5
回答なし30代	1	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	75.0	25.0
(※) 非喫煙者	2388	71.4	28.6
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	87.0	13.0
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	55.7	44.3
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	86.0	14.0
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	58.8	41.2

【比率の差】 n=30以上

全体 + 10ポイント以上	■
全体 + 5ポイント以上	■
全体 - 5ポイント以下	■
全体 - 10ポイント以下	■

Q6 受動喫煙の経験状況

Q6 あなたは、おおよそ1年の間に受動喫煙※を経験しましたか。

※「受動喫煙」とは、他人のたばこの煙を吸わされることをいいます。たばこの煙は、喫煙者が吸い込む主流煙と、火がついている部分から立ちのぼる副流煙、喫煙者が吐き出す呼出煙に分けられ、副流煙と呼出煙を吸い込むことを受動喫煙といえます。中でも、副流煙にはニコチンや一酸化炭素などの有害物質や発がん性物質が主流煙の何倍も含まれています。

【全体】

○おおよそ1年の間で受動喫煙を「経験した」という回答は49.5%と半数をわずかに下回った。

【性別】

○「経験した」は男性が52.1%、女性が47.1%と男性が若干多い。

【男性年代別】

○「経験した」は20代～60代までは半数を超えているが、70代では37.8%と大きく減少している。

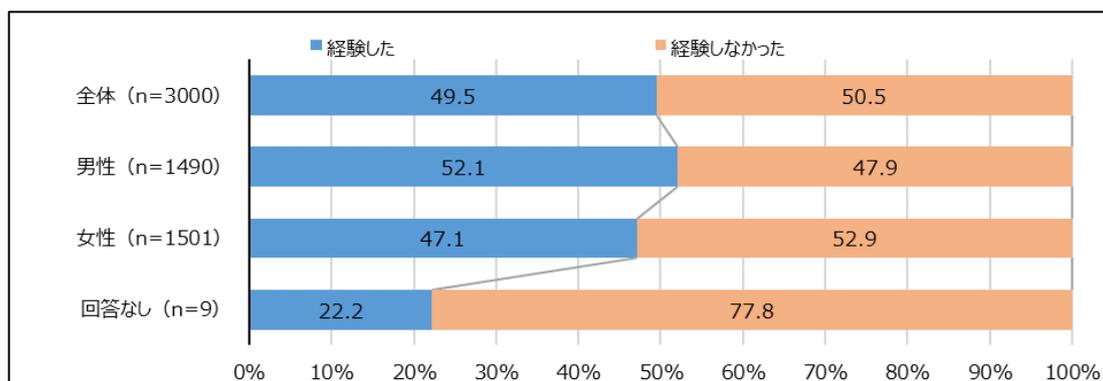
【女性年代別】

○「経験した」は20代～40代は半数を超えているが、50代43.1%、60代・70代は30%台と50代から年代が上がるにつれ減少傾向にある。

【喫煙者・非喫煙者別】

○「経験した」は喫煙者が61.6%、非喫煙者が46.4%と、喫煙者が15ポイント程多くなっている。

Q6 「受動喫煙の経験状況」のグラフと集計表



	n数	経験した	経験しなかった
全体	3000	49.5	50.5
男性	1490	52.1	47.9
女性	1501	47.1	52.9
回答なし	9	22.2	77.8
男性20代	240	55.4	44.6
男性30代	272	55.1	44.9
男性40代	317	53.3	46.7
男性50代	280	54.6	45.4
男性60代	196	51.5	48.5
男性70代	185	37.8	62.2
女性20代	242	56.6	43.4
女性30代	267	54.7	45.3
女性40代	310	55.2	44.8
女性50代	267	43.1	56.9
女性60代	196	35.2	64.8
女性70代	219	31.5	68.5
回答なし20代	8	25.0	75.0
回答なし30代	1	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	61.6	38.4
(※) 非喫煙者	2388	46.4	53.6
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	100.0	0.0
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	0.0	100.0
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	100.0	0.0
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	0.0	100.0

【比率の差】 n=30以上	
全体+10ポイント以上	■ (濃いオレンジ)
全体+5ポイント以上	■ (薄いオレンジ)
全体-5ポイント以下	■ (薄い青)
全体-10ポイント以下	■ (濃い青)

【参考】 受動喫煙の経験状況（喫煙者）

Q6 の受動喫煙の経験状況を「喫煙者」と「非喫煙者」で分けて集計した。

喫煙者

【喫煙者の全体】

○おおよそ1年の間で受動喫煙を「経験した」という回答は61.6%と6割を超えた。

【性別】

○「経験した」は男性が62.8%、女性が58.9%と男性が若干多い。

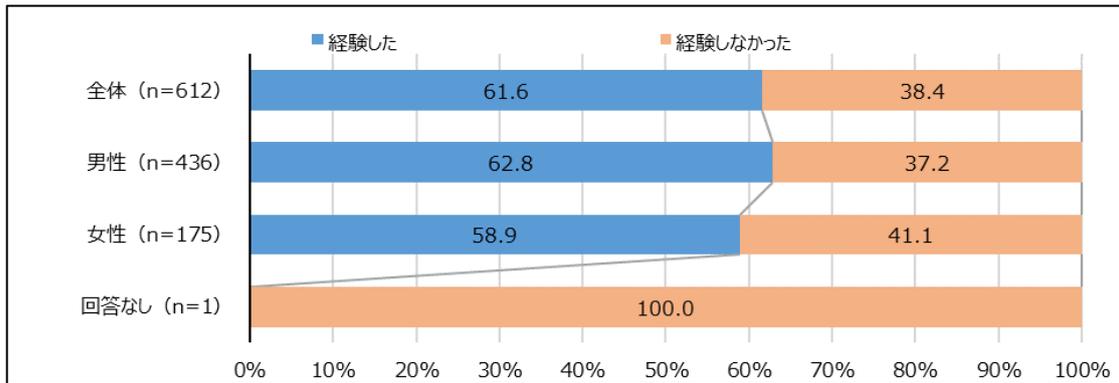
【男性年代別】

○「経験した」は20代が最も多く69.6%で、そこから概ね年代が上がるにつれ減少傾向にあり、70代は最も少なく41.2%となった。

【女性年代別】

○回答者30名未満の年代が多いため言及が難しい。

【参考】「受動喫煙の経験状況（喫煙者）」のグラフと集計表



	n数	経験した	経験しなかった
全体	612	61.6	38.4
男性	436	62.8	37.2
女性	175	58.9	41.1
回答なし	1	0.0	100.0
男性20代	56	69.6	30.4
男性30代	71	66.2	33.8
男性40代	110	67.3	32.7
男性50代	101	61.4	38.6
男性60代	64	59.4	40.6
男性70代	34	41.2	58.8
女性20代	17	76.5	23.5
女性30代	23	60.9	39.1
女性40代	50	66.0	34.0
女性50代	42	54.8	45.2
女性60代	23	39.1	60.9
女性70代	20	55.0	45.0
回答なし20代	1	0.0	100.0
回答なし30代	0	-	-
(※) 喫煙者	612	61.6	38.4
(※) 非喫煙者	0	-	-
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	100.0	0.0
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	0.0	100.0
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	0	-	-
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	0	-	-

【比率の差】 n=30以上	
全体+10ポイント以上	■ (濃いオレンジ)
全体+5ポイント以上	■ (薄いオレンジ)
全体-5ポイント以下	■ (薄い青)
全体-10ポイント以下	■ (濃い青)

【参考】 受動喫煙の経験状況（非喫煙者）

Q6 の受動喫煙の経験状況を「喫煙者」と「非喫煙者」で分けて集計した。

非喫煙者

【非喫煙者の全体】

○おおよそ1年の間で受動喫煙を「経験した」という回答は46.4%と半数を下回った。

【性別】

○「経験した」は男性が47.6%、女性が45.6%と男性が若干多い。

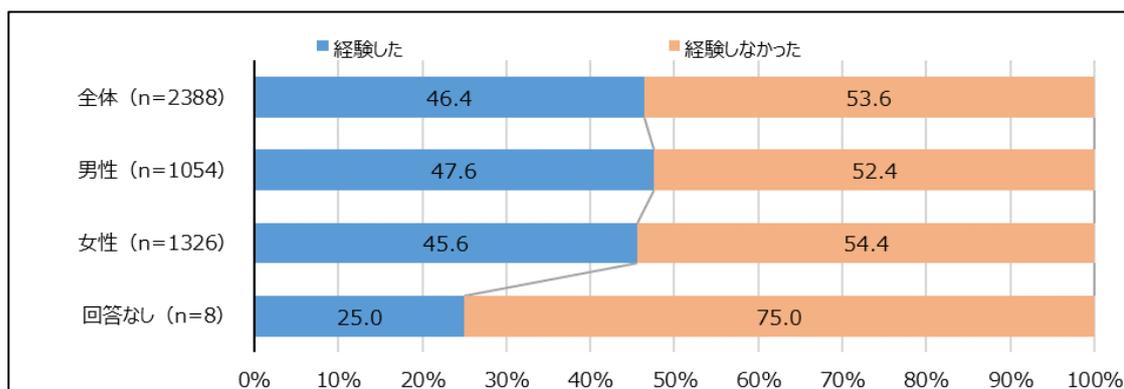
【男性年代別】

○「経験した」は20代～30代・50代は半数を上回っているが、70代は37.1%と大きく減少している。

【女性年代別】

○「経験した」は20代～40代は50%台半ばで、50代になると40.9%に下がり、60代は34.7%、70代は29.1%と年代が上がるにつれ減少傾向にある。

【参考】「受動喫煙の経験状況（非喫煙者）」のグラフと集計表



	n数	経験した	経験しなかった
全体	2388	46.4	53.6
男性	1054	47.6	52.4
女性	1326	45.6	54.4
回答なし	8	25.0	75.0
男性20代	184	51.1	48.9
男性30代	201	51.2	48.8
男性40代	207	45.9	54.1
男性50代	179	50.8	49.2
男性60代	132	47.7	52.3
男性70代	151	37.1	62.9
女性20代	225	55.1	44.9
女性30代	244	54.1	45.9
女性40代	260	53.1	46.9
女性50代	225	40.9	59.1
女性60代	173	34.7	65.3
女性70代	199	29.1	70.9
回答なし20代	7	28.6	71.4
回答なし30代	1	0.0	100.0
(※) 喫煙者	0	-	-
(※) 非喫煙者	2388	46.4	53.6
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	0	-	-
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	0	-	-
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	100.0	0.0
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	0.0	100.0

【比率の差】 n=30以上	
全体 + 10ポイント以上	■ (濃いオレンジ)
全体 + 5ポイント以上	■ (薄いオレンジ)
全体 - 5ポイント以下	■ (薄い青)
全体 - 10ポイント以下	■ (濃い青)

Q 6 - 1 受動喫煙の経験地域

Q6-1 Q6で「経験した」と回答した方にお尋ねします。
受動喫煙を経験した場所は主に都内でしたか。

【全体】

○受動喫煙の経験地域は「都内」が95.0%とほとんどを占めている。

【性別】

○「都内」は男性96.0%、女性93.9%でわずかに男性が多い。

【男性年代別】

○「都内」はどの年代も90%を超えているが、なかでも20代は98.5%、70代は98.6%と特に多くなっている。

【女性年代別】

○「都内」は20代～60代は90%を超えているが、70代のみ88.4%と9割を下回っている。

【喫煙者・非喫煙者別】

○「都内」は喫煙者が96.0%、非喫煙者が94.7%で喫煙状況による大きな違いは見られない。

Q 6 - 1 「受動喫煙の経験地域」のグラフと集計表



	n数	都内	都外
全体	1485	95.0	5.0
男性	776	96.0	4.0
女性	707	93.9	6.1
回答なし	2	100.0	0.0
男性20代	133	98.5	1.5
男性30代	150	95.3	4.7
男性40代	169	95.3	4.7
男性50代	153	94.1	5.9
男性60代	101	96.0	4.0
男性70代	70	98.6	1.4
女性20代	137	93.4	6.6
女性30代	146	93.2	6.8
女性40代	171	95.9	4.1
女性50代	115	95.7	4.3
女性60代	69	94.2	5.8
女性70代	69	88.4	11.6
回答なし20代	2	100.0	0.0
回答なし30代	0	-	-
(※) 喫煙者	377	96.0	4.0
(※) 非喫煙者	1108	94.7	5.3
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	96.0	4.0
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	0	-	-
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	94.7	5.3
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	0	-	-

【比率の差】 n=30以上	
全体 + 10ポイント以上	
全体 + 5ポイント以上	
全体 - 5ポイント以下	
全体 - 10ポイント以下	

Q 6 -2 受動喫煙の経験場所（屋内）

Q6-2 Q6 で「経験した」と回答した方にお尋ねします。どこで受動喫煙を経験しましたか。**屋内**※で受動喫煙を経験した場所であてはまるものをお選びください。【複数回答可】

※「屋内」とは、屋根があり、かつ、側壁が概ね半分以上覆われているものの内部を指します。これに該当しない場所が「屋外」です。

【全体】

- 屋内**における受動喫煙の経験場所としては 1 位「夜利用した飲食店」が 34.3%、次いで「日中に利用した飲食店」が 25.9%と飲食店が多い。
- これ以外の場所では、3 位「職場」10.6%、4 位「商業施設」9.5%、5 位「娯楽施設」8.9%、6 位「駅・空港等」7.6%となった。
- 「屋内では経験なし」は 32.2%と約 3 割であった。

【性別】

- 男女とも 1 位は「夜利用した飲食店」で、それぞれ 39.2%、29.0%と 10 ポイント程男性が多い。2 位は「日中利用した飲食店」で、それぞれ 28.5%、23.2%でこちらも男性が若干多い。
- それ以降は順位に違いがあり 3 位の男性「職場」13.8%・女性「商業施設」8.2%、4 位は男性「娯楽施設」13.3%・女性「職場」と「駅・空港等」6.9%だった。

【男性年代別】

- 他の年代と比べて高い項目は、20 代で「日中に利用した飲食店」36.1%、30 代で「夜利用した飲食店」48.0%であった。
- 他の年代と比べて低い項目は、60 代で「日中に利用した飲食店」14.9%、20 代～40 代は「屋内では経験なし」が 20%強となった。

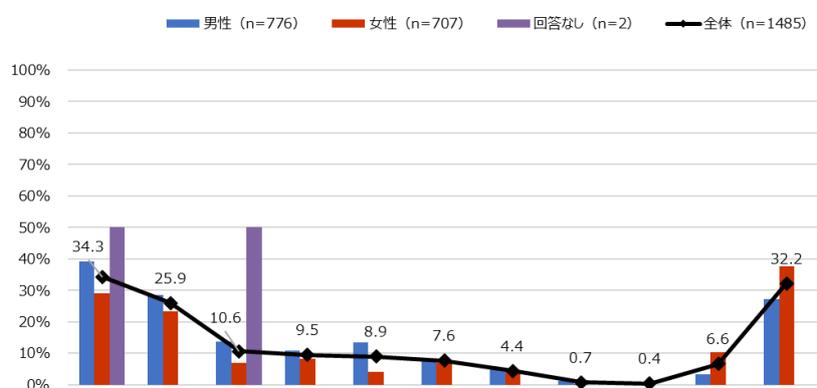
【女性年代別】

- 他の年代と比べて高い項目は、20 代で「夜利用した飲食店」が 40.9%だった。
- 他の年代と比べて低い項目は、40 代～70 代で「夜利用した飲食店」が 2 割台となった。

【喫煙者・非喫煙者別】

- 喫煙者・非喫煙者いずれも 1 位は「夜利用した飲食店」で、それぞれ 41.6%、31.9%、2 位は「日中に利用した飲食店」で、それぞれ 33.2%、23.5%となった。
- 喫煙者の 3 位は「商業施設」で 4 位「職場」、5 位「娯楽施設」となり、非喫煙者の 3 位は「職場」で 4 位「駅・空港等」、5 位「商業施設」となり、いずれも「喫煙者」の方が多くなっている。

Q 6-2 「受動喫煙の経験場所（屋内）」のグラフと集計表



※「全体」の降順

	n数	夜利用した飲食店	日中に利用した飲食店	職場	商業施設	娯楽施設	駅・空港等	宿泊施設	官公庁・病院等	保育所・幼稚園・学校等	その他	屋内では経験なし
全体	1485	34.3	25.9	10.6	9.5	8.9	7.6	4.4	0.7	0.4	6.6	32.2
男性	776	39.2	28.5	13.8	10.7	13.3	8.2	4.9	1.2	0.8	3.4	27.3
女性	707	29.0	23.2	6.9	8.2	4.1	6.9	4.0	0.1	0.0	10.2	37.6
回答なし	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性20代	133	37.6	36.1	7.5	10.5	15.8	7.5	6.8	2.3	1.5	2.3	24.1
男性30代	150	48.0	34.7	14.7	14.0	18.0	12.0	9.3	2.0	1.3	3.3	22.0
男性40代	169	43.8	31.4	15.4	13.6	15.4	6.5	3.6	0.6	0.6	3.0	22.5
男性50代	153	30.1	22.9	17.0	8.5	9.2	9.2	3.3	1.3	0.7	3.9	35.3
男性60代	101	34.7	14.9	11.9	5.0	8.9	5.0	2.0	0.0	0.0	5.0	29.7
男性70代	70	38.6	25.7	15.7	10.0	8.6	8.6	2.9	0.0	0.0	2.9	35.7
女性20代	137	40.9	21.9	5.1	5.1	4.4	5.1	5.1	0.0	0.0	7.3	32.8
女性30代	146	31.5	23.3	11.0	6.2	4.1	8.9	2.7	0.7	0.0	7.5	37.0
女性40代	171	25.7	25.7	5.8	11.7	5.8	8.2	4.1	0.0	0.0	11.1	40.9
女性50代	115	22.6	22.6	8.7	7.0	1.7	6.1	3.5	0.0	0.0	12.2	34.8
女性60代	69	27.5	21.7	4.3	5.8	1.4	1.4	4.3	0.0	0.0	10.1	40.6
女性70代	69	20.3	21.7	4.3	14.5	5.8	10.1	4.3	0.0	0.0	15.9	42.0
回答なし20代	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
回答なし30代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(※) 喫煙者	377	41.6	33.2	18.6	19.4	18.0	11.4	8.0	1.9	1.3	2.1	19.4
(※) 非喫煙者	1108	31.9	23.5	7.9	6.1	5.8	6.3	3.2	0.3	0.1	8.1	36.6
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	41.6	33.2	18.6	19.4	18.0	11.4	8.0	1.9	1.3	2.1	19.4
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	31.9	23.5	7.9	6.1	5.8	6.3	3.2	0.3	0.1	8.1	36.6
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【比率の差】 n=30以上

- 全体+10ポイント以上
- 全体+5ポイント以上
- 全体-5ポイント以下
- 全体-10ポイント以下

Q 6-3 受動喫煙の経験場所（屋外）

Q6-3 Q6 で「経験した」と回答した方にお尋ねします。どこで受動喫煙を経験しましたか。**屋外**※で受動喫煙を経験した場所であてはまるものをお選びください。【複数回答可】

※「屋内」とは、屋根があり、かつ、側壁が概ね半分以上覆われているものの内部を指します。これに該当しない場所が「屋外」です。

【全体】

- 屋外**における受動喫煙の経験場所としては 1 位「路上」が 57.4%と半数以上となった。
- これ以外の場所では、2 位「日中に利用した飲食店」16.8%、3 位「夜利用した飲食店」15.4%、次いで 4 位「駅・空港等」14.8%、5 位「商業施設」12.7%、6 位「職場」10.4%となった。
- 「屋外では経験なし」は 13.1%となった。

【性別】

- 男女とも 1 位は「路上」だが、それぞれ 52.2%、63.4%と、女性が 10 ポイント程多くなっている。
- 2 位以降は男女で違いがあり、2 位は男性「日中に利用した飲食店」18.6%・女性「駅・空港等」16.1%、3 位は男性「夜利用した飲食店」17.5%・女性「日中に利用した飲食店」14.9%、4 位は男性「駅・空港等」「商業施設」13.5%・女性「夜利用した飲食店」13.0%だった。

【男性年代別】

- 他の年代と比べて高い項目は、60 代「屋外では経験なし」が 25.7%だった。
- 他の年代と比べて低い項目は、20 代～40 代・60 代「路上」で 5 割前後だった。

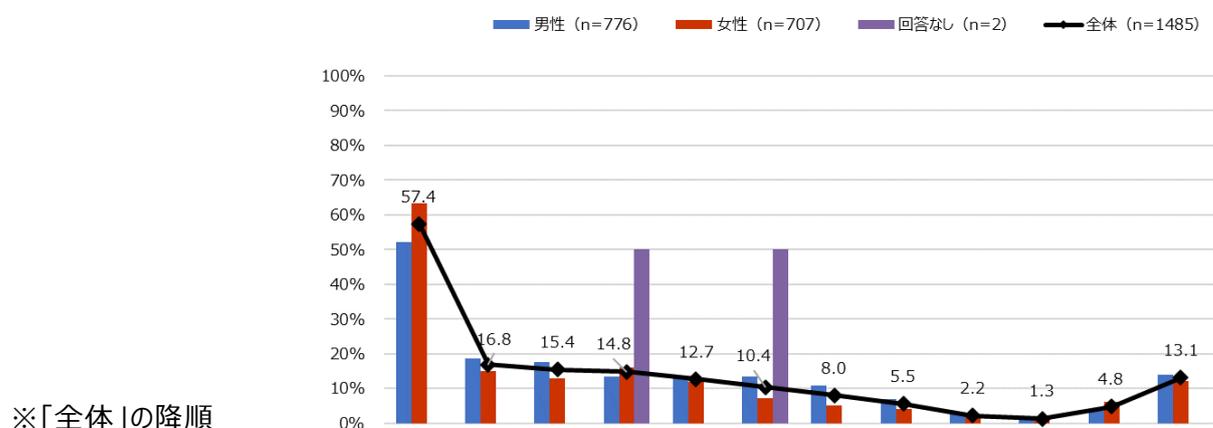
【女性年代別】

- 他の年代と比べて高い項目は、「路上」で 30 代が 65.1%、50 代・70 代で 7 割弱となった。女性 70 代は「駅・空港等」が 26.1%と他より多い。
- 他の年代と比べて低い項目は、50 代「日中利用した飲食店」10.4%、60 代・70 代「夜利用した飲食店」10%以下などであった。

【喫煙者・非喫煙者別】

- 喫煙者・非喫煙者いずれも 1 位は「路上」で、それぞれ 43.8%、62.1%、2 位は喫煙者「日中利用した飲食店」22.5%、非喫煙者「駅・空港等」15.2%、3 位は喫煙者「夜利用した飲食店」21.2%、非喫煙者「日中利用した飲食店」14.8%となり、路上では非喫煙者が、飲食店では喫煙者の受動喫煙割合が高くなっている。

Q 6-3 「受動喫煙の経験場所（屋外）」のグラフと集計表



	n数	路上	日中に利用した飲食店	夜利用した飲食店	駅・空港等	商業施設	職場	娯楽施設	宿泊施設	官公庁・病院等	保育所・幼稚園・学校等	その他	屋外では経験なし
全体	1485	57.4	16.8	15.4	14.8	12.7	10.4	8.0	5.5	2.2	1.3	4.8	13.1
男性	776	52.2	18.6	17.5	13.5	13.5	13.3	10.8	7.0	2.7	1.7	3.6	14.0
女性	707	63.4	14.9	13.0	16.1	11.9	7.1	5.0	4.0	1.6	1.0	6.2	12.2
回答なし	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性20代	133	48.9	21.8	15.8	12.8	13.5	9.8	11.3	8.3	2.3	1.5	3.0	14.3
男性30代	150	51.3	24.7	22.0	14.0	14.0	14.0	16.0	9.3	4.0	2.0	4.0	12.7
男性40代	169	49.1	21.3	22.5	13.6	21.9	16.0	14.2	8.9	5.3	2.4	2.4	7.1
男性50代	153	54.2	12.4	15.7	15.0	10.5	16.3	6.5	4.6	1.3	2.0	2.0	17.6
男性60代	101	49.5	8.9	10.9	6.9	5.0	11.9	4.0	2.0	1.0	1.0	5.9	25.7
男性70代	70	67.1	20.0	12.9	20.0	11.4	7.1	10.0	7.1	0.0	0.0	7.1	8.6
女性20代	137	56.9	13.9	13.1	18.2	10.9	6.6	6.6	2.9	1.5	0.7	1.5	11.7
女性30代	146	65.1	15.1	15.1	16.4	8.9	9.6	4.1	4.1	2.1	2.1	4.8	12.3
女性40代	171	62.0	19.9	17.0	15.2	13.5	5.8	4.7	4.7	1.2	0.6	5.8	11.1
女性50代	115	67.8	10.4	11.3	12.2	13.9	9.6	6.1	2.6	0.9	0.9	7.0	13.9
女性60代	69	62.3	13.0	5.8	10.1	11.6	5.8	4.3	5.8	2.9	1.4	10.1	15.9
女性70代	69	69.6	13.0	8.7	26.1	13.0	2.9	2.9	4.3	1.4	0.0	14.5	8.7
回答なし20代	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
回答なし30代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(※) 喫煙者	377	43.8	22.5	21.2	13.8	12.7	14.3	13.5	8.5	2.7	1.9	2.1	13.0
(※) 非喫煙者	1108	62.1	14.8	13.4	15.2	12.7	9.0	6.1	4.5	2.0	1.2	5.8	13.2
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	43.8	22.5	21.2	13.8	12.7	14.3	13.5	8.5	2.7	1.9	2.1	13.0
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	62.1	14.8	13.4	15.2	12.7	9.0	6.1	4.5	2.0	1.2	5.8	13.2
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【比率の差】 n=30以上

- 全体 +10ポイント以上
- 全体 +5ポイント以上
- 全体 -5ポイント以下
- 全体 -10ポイント以下

【参考】 受動喫煙の経験場所（屋内・屋外）

【参考】Q6-2・Q6-3 での受動喫煙経験場所「屋内」と「屋外」分けず、ならして集計した。

【全体】

- 「屋内」「屋外」をならした受動喫煙の経験場所としては 1 位「路上」が 57.4%と半数以上となった（「路上」は屋外の受動喫煙の経験場所 Q6-3 でのみ設けた選択肢）。
- これ以外の場所では、2 位「夜利用した飲食店」38.5%、3 位「日中に利用した飲食店」31.1%と飲食店が多く、次いで 4 位「駅・空港等」18.8%、5 位「商業施設」18.2%、6 位「職場」16.7%となった。

【性別】

- 男女とも 1 位は「路上」で、それぞれ 52.2%、63.4%と女性が若干多いが、2 位は「夜利用した飲食店」で、それぞれ 43.3%、33.1%、3 位「日中に利用した飲食店」で、33.5%、28.6%と（夜、日中とも）飲食店は男性の方が多くなった。
- 「娯楽施設」は男性が 17.9%に対して女性 7.8%と 2 倍以上の差が出た。

【男性年代別】

- 他の年代と比べて高い項目は、30 代・40 代で「夜利用した飲食店」5 割前後、20 代で「日中に利用した飲食店」42.9%となった。また、20 代～40 代「娯楽施設」、30 代～50 代「職場」はそれぞれ 20%台とやや多くなった。
- 他の年代と比べて低い項目は、60 代「日中に利用した飲食店」が 20.8%であった。20 代～40 代・60 代「路上」が 5 割前後とやや低い数字となった。

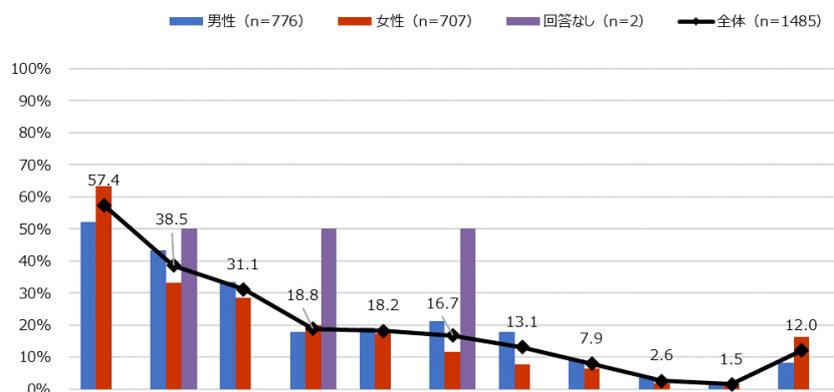
【女性年代別】

- 他の年代と比べて高い項目は、女性 70 代で「路上」69.6%、「駅・空港等」が 30.4%などであった。
- 他の年代と比べて低い項目は、40 代～70 代「夜利用した飲食店」で、70 代は 21.7%まで減少した。60 代は 2 位～7 位がそれぞれ低くなった（「（夜、日中とも）飲食店」「駅・空港等」「商業施設」「職場」「娯楽施設」）。

【喫煙者・非喫煙者別】

- 1 位は喫煙者「夜利用した飲食店」46.4%・非喫煙者「路上」62.1%、2 位は喫煙者「路上」43.8%・非喫煙者「夜利用した飲食店」35.7%、3 位は「日中に利用した飲食店」喫煙者 39.0%、非喫煙者 28.4%となり、「路上」と「その他」以外の場所は全て喫煙者の方が多かった。

【参考】「受動喫煙の経験場所（屋内・屋外）」のグラフと集計表



	n数	路上	夜利用した飲食店	日中に利用した飲食店	駅・空港等	商業施設	職場	娯楽施設	宿泊施設	官公庁・病院等	保育所・幼稚園・学校等	その他
全体	1485	57.4	38.5	31.1	18.8	18.2	16.7	13.1	7.9	2.6	1.5	12.0
男性	776	52.2	43.3	33.5	17.8	19.2	21.1	17.9	9.3	3.5	1.9	8.1
女性	707	63.4	33.1	28.6	19.8	17.3	11.7	7.8	6.5	1.7	1.0	16.3
回答なし	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性20代	133	48.9	41.4	42.9	17.3	19.5	15.0	22.6	11.3	3.8	3.0	6.8
男性30代	150	51.3	52.0	40.0	19.3	20.7	22.7	23.3	14.0	6.0	2.0	8.0
男性40代	169	49.1	49.1	36.1	18.3	28.4	23.1	21.3	10.7	5.3	2.4	5.9
男性50代	153	54.2	35.3	24.8	19.6	15.7	24.8	11.8	5.9	2.0	2.0	7.2
男性60代	101	49.5	38.6	20.8	9.9	8.9	19.8	9.9	3.0	1.0	1.0	13.9
男性70代	70	67.1	38.6	32.9	21.4	15.7	18.6	14.3	8.6	0.0	0.0	10.0
女性20代	137	56.9	46.0	26.3	20.4	13.1	9.5	9.5	6.6	1.5	0.7	10.9
女性30代	146	65.1	36.3	28.8	20.5	14.4	17.1	6.8	6.8	2.7	2.1	12.3
女性40代	171	62.0	31.0	33.9	19.9	21.6	9.4	8.8	6.4	1.2	0.6	17.5
女性50代	115	67.8	27.0	26.1	16.5	18.3	15.7	6.1	5.2	0.9	0.9	17.4
女性60代	69	62.3	27.5	24.6	11.6	13.0	10.1	5.8	7.2	2.9	1.4	18.8
女性70代	69	69.6	21.7	27.5	30.4	23.2	5.8	8.7	7.2	1.4	0.0	27.5
回答なし20代	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
回答なし30代	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(※) 喫煙者	377	43.8	46.4	39.0	19.9	25.5	24.1	22.5	12.7	4.0	2.1	6.1
(※) 非喫煙者	1108	62.1	35.7	28.4	18.4	15.8	14.2	9.8	6.3	2.2	1.3	14.0
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	43.8	46.4	39.0	19.9	25.5	24.1	22.5	12.7	4.0	2.1	6.1
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	62.1	35.7	28.4	18.4	15.8	14.2	9.8	6.3	2.2	1.3	14.0
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【比率の差】 n=30以上	
全体+10ポイント以上	■
全体+5ポイント以上	■
全体-5ポイント以下	■
全体-10ポイント以下	■

※「路上」は「屋外のみ」設置した選択肢。
 ※「その他」には「屋内では経験なし」「屋外経験なし」を両方選択した者を含む。

Q7 他人のたばこの煙の感じ方

Q7 あなたは他人のたばこの煙をどう感じますか。

【全体】

- 他人のたばこの煙をどう感じるかについては、『不快感を覚える』が 57.7%（「不快感を覚える」21.0%、「強い不快感を覚える」31.4%、「体調不良を生じるほど不快感を覚える」5.3%の合計。以下、同じ。）で半数以上を占めている。
- これ以外では、「できれば受けたくない」が 28.8%、「特に何とも思わない」が 13.4%だった。

【性別】

- 『不快感を覚える』は、男性 48.9%に対して女性 66.6%と女性が 15ポイント以上多く、内訳をみると、「強い不快感を覚える」で男性 24.9%に対して女性 37.9%と大きな差が見られた。
- これ以外では、「特に何とも思わない」は男性が 19.4%、女性が 7.3%と男性が 3 倍近く多かった。

【男性年代別】

- 『不快感を覚える』は 50 代が 43.6%と最も少なく、70 代が 59.5%と最も多かった。
- 「特に何とも思わない」は 50 代が 24.6%、「不快感を覚える」は 70 代で 31.9%と他より多かった。

【女性年代別】

- すべての年代で『不快感を覚える』が 6 割以上で、その中で「強い不快感を覚える」は 30～60 代で 4 割前後と多かった。30 代は「体調不良を感じるほど不快感を覚える」が 10.5%とやや多かった。
- 「特に何とも思わない」は 70 代で 5.0%と最も少なかった。

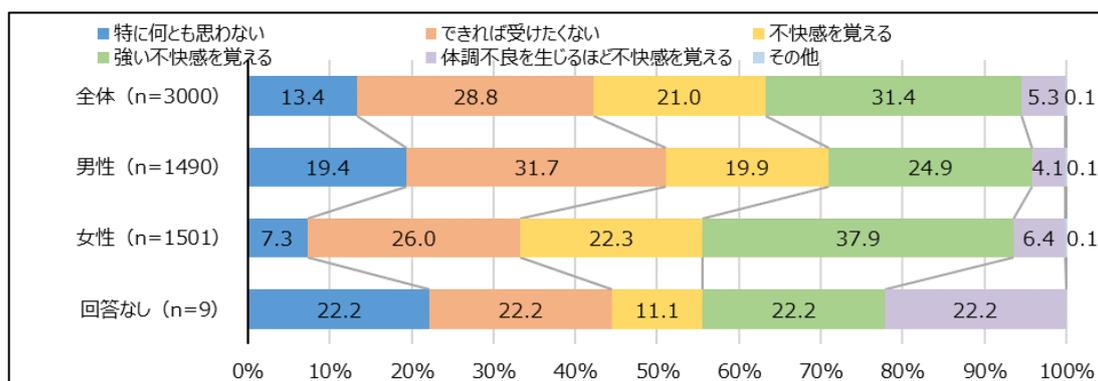
【喫煙者・非喫煙者別】

- 『不快感を覚える』は喫煙者が 21.7%、非喫煙者が 67.0%と、非喫煙者の方が 3 倍以上も多かった。
- 一方、「特に何とも思わない」は、喫煙者が 39.5%、非喫煙者が 6.7%と、喫煙者の方が 6 倍程多かった。

【受動喫煙経験の有無別】

- 『不快感を覚える』は、喫煙者では「受動喫煙経験あり」が 24.1%、「受動喫煙経験なし」が 17.9%でいずれも 2 割前後だが、非喫煙者では「受動喫煙経験あり」が 74.1%、「受動喫煙経験なし」が 60.8%と、いずれも 6～7 割強と大きく増加する。

Q7 「他人のたばこの煙の感じ方」のグラフと集計表



	n数	特に何とも思わない	できれば受けたくない	不快感を覚える	強い不快感を覚える	体調不良を生じるほど不快感を覚える	その他
全体	3000	13.4	28.8	21.0	31.4	5.3	0.1
男性	1490	19.4	31.7	19.9	24.9	4.1	0.1
女性	1501	7.3	26.0	22.3	37.9	6.4	0.1
回答なし	9	22.2	22.2	11.1	22.2	22.2	0.0
男性20代	240	20.8	34.2	16.7	22.1	6.3	0.0
男性30代	272	19.5	35.3	13.6	25.0	6.3	0.4
男性40代	317	17.7	29.0	20.8	28.7	3.8	0.0
男性50代	280	24.6	31.8	18.6	22.9	2.1	0.0
男性60代	196	19.9	30.6	21.4	26.5	1.5	0.0
男性70代	185	11.9	28.6	31.9	23.2	4.3	0.0
女性20代	242	8.7	29.8	23.6	31.8	5.8	0.4
女性30代	267	7.5	24.3	18.4	39.3	10.5	0.0
女性40代	310	9.7	22.6	20.6	42.6	4.5	0.0
女性50代	267	6.0	26.2	20.6	39.0	7.9	0.4
女性60代	196	6.1	26.0	24.0	37.8	6.1	0.0
女性70代	219	5.0	28.3	28.3	35.2	3.2	0.0
回答なし20代	8	12.5	25.0	12.5	25.0	25.0	0.0
回答なし30代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(※) 喫煙者	612	39.5	38.6	14.7	5.7	1.3	0.2
(※) 非喫煙者	2388	6.7	26.3	22.7	38.0	6.3	0.1
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	34.7	40.8	17.2	6.1	0.8	0.3
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	47.2	34.9	10.6	5.1	2.1	0.0
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	4.4	21.3	19.3	48.2	6.6	0.2
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	8.6	30.6	25.5	29.1	6.1	0.0

【比率の差】 n=30以上

全体+10ポイント以上	■
全体+5ポイント以上	■
全体-5ポイント以下	■
全体-10ポイント以下	■

Q 8 加熱式たばこの受動喫煙リスク

Q 8 あなたは、「加熱式たばこ※」の受動喫煙リスクはどの程度あると思いますか。お気持ちに近いものを1つお選びください。

※「加熱式たばこ」とは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を燃焼させず、専用機器を用いて電気で加熱することで煙を発生させるもの。加熱の方法や温度などは製品ごとに異なります。例：アイコス、グロー、プルーム・テック等（電子タバコは含みません）

【全体】

- 加熱式たばこの受動喫煙リスクについては、『紙たばこと比べて小さい』が 50.8%（「紙巻きたばこよりリスクが小さい」36.2%、「紙巻きたばこと比べて、かなり小さい」14.7%の合計。以下、同じ）で半数程となった。
- 「紙巻きたばこと同レベル」が 40.4%、「リスクがほぼ無い」が 8.8%であった。

【性別】

- 『紙たばこと比べて小さい』は男性が 50.7%、女性が 51.0%であった。性別による大きな違いは見られない。

【男性年代別】

- 『紙たばこと比べて小さい』の 20 代は 44.2%でその後 60 代の 60.7%まで年代が上がるにつれ増加傾向にあるが、70 代は 49.7%と減少する。
- 一方、「リスクがほぼ無い」は、20 代～50 代は 10%台で 60 代・70 代は 10%を下回った。

【女性年代別】

- 『紙たばこと比べて小さい』の 20 代は 44.2%であるが、30～60 代で 50%前後となり、70 代は 61.6%まで増えた。
- 一方、「リスクがほぼ無い」は、40～50 代で 5%以下とやや低い。

【喫煙者・非喫煙者別】

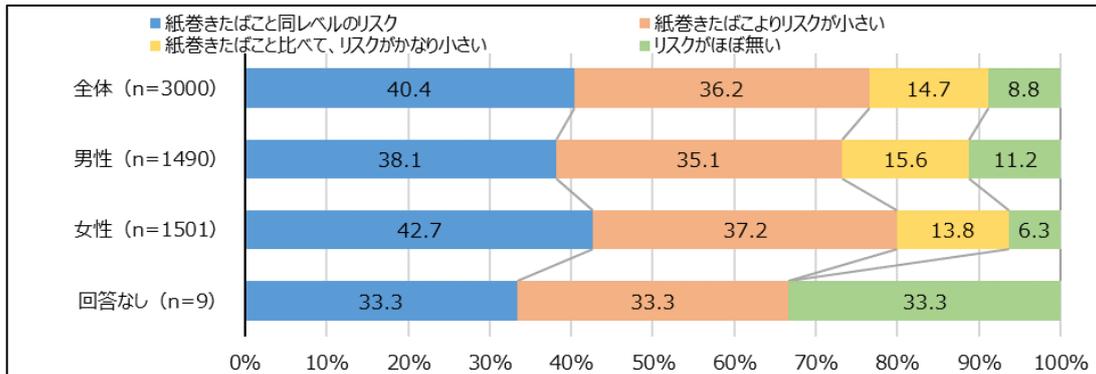
- 喫煙者・非喫煙者における『紙たばこと比べて小さい』の割合は「喫煙者」が 64.4%、「非喫煙者」が 47.4%と 17 ポイントの差が見られた。
- 一方、「紙たばこと同レベル」は、「非喫煙者」が 44.6%、「喫煙者」が 24.0%と 20.6 ポイントの差が見られた。

【受動喫煙経験の有無別】

○『紙たばこと比べて小さい』は、喫煙者では「受動喫煙経験あり」で 66.1%、「受動喫煙経験なし」で 61.7%だが、非喫煙者では割合は減少し「受動喫煙経験あり」「受動喫煙経験なし」いずれも 50%弱になる。

○一方、「紙たばこと同レベル」は、喫煙者では受動喫煙経験の有無に関わらず 2 割台だが、非喫煙者では「経験あり」で 50.2%、「経験なし」も 39.7%と増加する。

Q 8 「加熱式たばこの受動喫煙リスク」のグラフと集計表



	n数	加熱式たばこは、紙巻きたばこと同レベルで周囲の人へ受動喫煙による健康影響のリスクを与える	加熱式たばこは、紙巻きたばこと比べて、周囲の人への受動喫煙による健康影響のリスクが小さい	加熱式たばこは、紙巻きたばこと比べて、周囲の人への受動喫煙による健康影響のリスクがかなり小さい	加熱式たばこは、周囲の人への受動喫煙による健康影響のリスクがほぼ無い
全体	3000	40.4	36.2	14.7	8.8
男性	1490	38.1	35.1	15.6	11.2
女性	1501	42.7	37.2	13.8	6.3
回答なし	9	33.3	33.3	0.0	33.3
男性20代	240	40.8	29.2	15.0	15.0
男性30代	272	39.7	36.8	11.4	12.1
男性40代	317	38.8	30.3	19.2	11.7
男性50代	280	34.3	38.6	15.4	11.8
男性60代	196	32.7	41.8	18.9	6.6
男性70代	185	42.2	36.2	13.5	8.1
女性20代	242	47.9	32.6	11.6	7.9
女性30代	267	44.6	37.5	10.1	7.9
女性40代	310	45.5	35.2	14.8	4.5
女性50代	267	46.1	37.8	12.0	4.1
女性60代	196	37.2	39.3	16.3	7.1
女性70代	219	31.5	42.5	19.2	6.8
回答なし20代	8	37.5	37.5	0.0	25.0
回答なし30代	1	0.0	0.0	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	24.0	44.6	19.8	11.6
(※) 非喫煙者	2388	44.6	34.0	13.4	8.1
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	26.3	45.4	20.7	7.7
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	20.4	43.4	18.3	17.9
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	50.2	37.0	10.1	2.7
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	39.7	31.4	16.2	12.7

【比率の差】 n=30以上	
全体 + 10ポイント以上	■
全体 + 5ポイント以上	■
全体 - 5ポイント以下	■
全体 - 10ポイント以下	■

Q9 第一種施設屋内禁煙の認知度

Q9 行政機関や病院などでは、屋内禁煙となったことを知っていますか。

【全体】

○行政機関や病院などでは屋内禁煙となったことを「知っている」が 82.5%と 8 割以上を占めた。

【性別】

○「知っている」は男性が 81.5%、女性が 83.7%で女性が若干多い。

【男性年代別】

○「知っている」は 20～40 代は 7 割台、50～70 代は 8～9 割台となり、概ね年代が上がるにつれ増加傾向にある。

【女性年代別】

○「知っている」は 20～30 代は 7 割台、40～70 代は 8～9 割台となり、年代上がるにつれ認知度が上がっている。

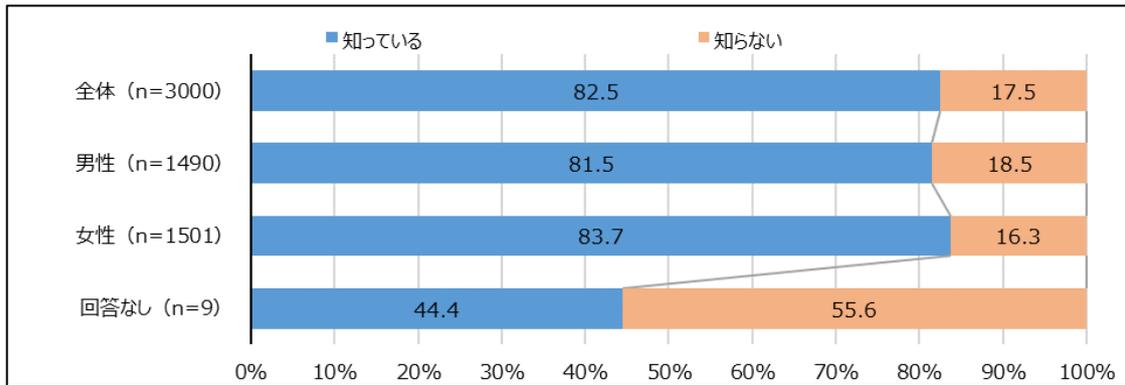
【喫煙者・非喫煙者別】

○「知っている」は喫煙者が 86.8%、非喫煙者が 81.4%であった。

【受動喫煙経験の有無別】

○「知っている」は、喫煙・非喫煙者ともに「受動喫煙経験あり」は 9 割台、「受動喫煙経験なし」は 7 割台と「受動喫煙経験あり」の方が多い。

Q9 「第一種施設屋内禁煙の認知度」のグラフと集計表



	n数	知っている	知らない
全体	3000	82.5	17.5
男性	1490	81.5	18.5
女性	1501	83.7	16.3
回答なし	9	44.4	55.6
男性20代	240	75.8	24.2
男性30代	272	75.0	25.0
男性40代	317	77.9	22.1
男性50代	280	85.7	14.3
男性60代	196	88.3	11.7
男性70代	185	90.8	9.2
女性20代	242	77.3	22.7
女性30代	267	75.3	24.7
女性40代	310	81.0	19.0
女性50代	267	87.6	12.4
女性60代	196	91.3	8.7
女性70代	219	93.2	6.8
回答なし20代	8	50.0	50.0
回答なし40代	1	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	86.8	13.2
(※) 非喫煙者	2388	81.4	18.6
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	92.8	7.2
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	77.0	23.0
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	90.9	9.1
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	73.1	26.9

【比率の差】 n=30以上	
全体+10ポイント以上	■ (濃いオレンジ)
全体+5ポイント以上	■ (薄いオレンジ)
全体-5ポイント以下	■ (薄い青)
全体-10ポイント以下	■ (濃い青)

Q 1 0 学校等敷地内禁煙の認知度

Q10 保育所・幼稚園・学校などは、敷地内禁煙（屋内に加え、東京都受動喫煙防止条例で、敷地内の屋外も喫煙不可（努力義務））となっていることを知っていますか。

【全体】

○保育所・幼稚園・学校などは敷地内禁煙（敷地内の屋外も喫煙不可（努力義務））となっていることを「知っている」が 71.8%であった。

【性別】

○「知っている」は男性が 72.1%、女性が 71.6%となっており、性別による大きな違いはみられない。

【男性年代別】

○「知っている」は 70 代が 84.3%と最も多く、40 代が 62.5%と最も少なくなっている。

【女性年代別】

○「知っている」は 70 代が 81.7%と最も多く、40 代が 65.5%と最も少なくなっている。

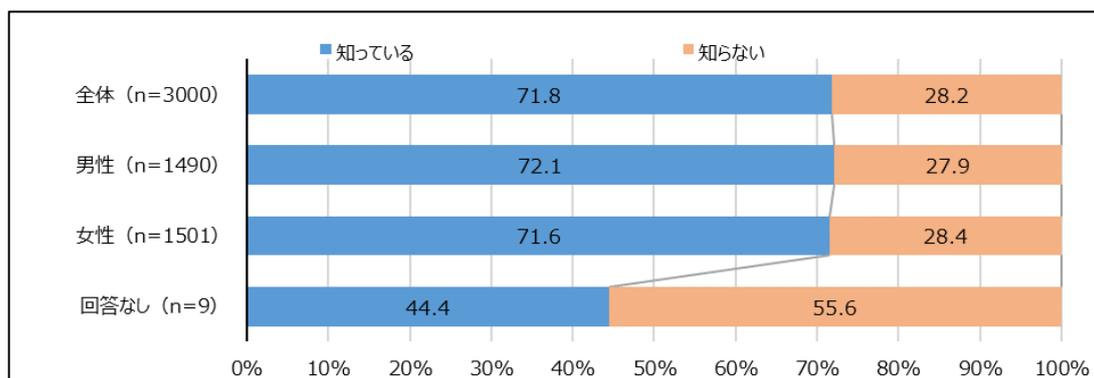
【喫煙者・非喫煙者別】

○「知っている」は喫煙者が 82.5%と、非喫煙者の 69.0%より 13.5 ポイント多い。

【受動喫煙経験の有無別】

○「知っている」は、「喫煙者で受動喫煙あり」が 88.6%と最も多く、「非喫煙者で受動喫煙なし」が 62.7%と最も少なくなっている。

Q 1 0 「学校等敷地内禁煙の認知度」のグラフと集計表



	n数	知っている	知らない
全体	3000	71.8	28.2
男性	1490	72.1	27.9
女性	1501	71.6	28.4
回答なし	9	44.4	55.6
男性20代	240	70.8	29.2
男性30代	272	69.1	30.9
男性40代	317	62.5	37.5
男性50代	280	73.9	26.1
男性60代	196	79.1	20.9
男性70代	185	84.3	15.7
女性20代	242	69.4	30.6
女性30代	267	65.9	34.1
女性40代	310	65.5	34.5
女性50代	267	74.2	25.8
女性60代	196	77.0	23.0
女性70代	219	81.7	18.3
回答なし20代	8	50.0	50.0
回答なし30代	1	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	82.5	17.5
(※) 非喫煙者	2388	69.0	31.0
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	88.6	11.4
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	72.8	27.2
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	76.3	23.7
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	62.7	37.3

【比率の差】 n=30以上	
全体+10ポイント以上	■ (濃いオレンジ)
全体+5ポイント以上	■ (薄いオレンジ)
全体-5ポイント以下	■ (薄い青)
全体-10ポイント以下	■ (濃い青)

Q 1 1 飲食店における原則屋内禁煙の認知度

Q11 飲食店は、原則屋内禁煙（基準を満たした喫煙室※でのみ喫煙可）となっていることを知っていますか。

※ここでいう喫煙室とは、喫煙専用室、指定たばこ専用喫煙室、喫煙可能室（2020年4月1日時点で既に営業している、施設内の客席部分の床面積が100㎡以下、中小企業又は個人経営、従業員がいない、の4つの要件を全て満たした飲食店のみ設置可能）、喫煙目的室（喫煙場所を提供することを主目的とする等の要件を満たした施設のみ設置可能）のことを指します。

【全体】

○飲食店は原則屋内禁煙（基準を満たした喫煙室でのみ喫煙可）となっていることを「知っている」が73.9%だった。

【性別】

○「知っている」は男性が75.2%、女性が73.0%で男性が若干多い。

【男性年代別】

○「知っている」は70代が83.8%と最も多く、40代が69.4%と最も少なくなっている。

【女性年代別】

○「知っている」は70代が83.1%と最も多く、30代が68.2%と最も少なくなっている。

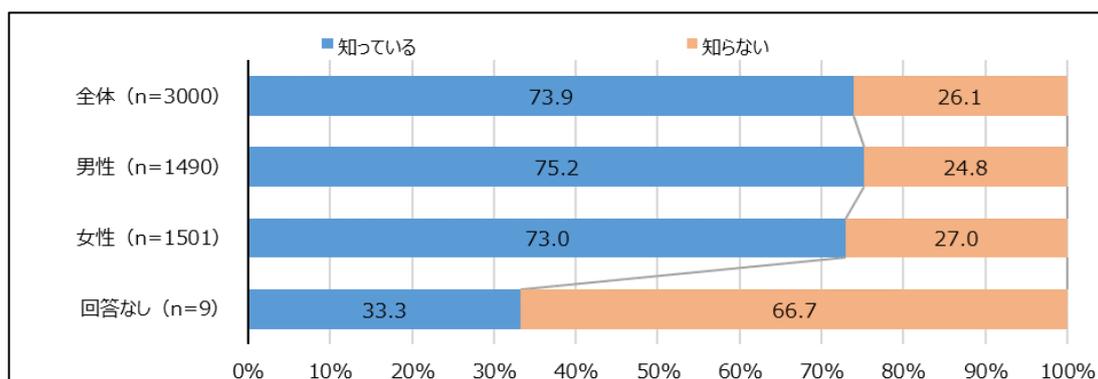
【喫煙者・非喫煙者別】

○「知っている」は喫煙者が87.7%で、非喫煙者の70.4%より17ポイントほど多い。

【受動喫煙経験の有無別】

○「知っている」は、「喫煙者で受動喫煙経験あり」が93.6%と最も多く、「非喫煙者で受動喫煙経験なし」が64.5%と最も少なくなっている。

Q 1 1 「飲食店における原則屋内禁煙の認知度」のグラフと集計表



	n数	知っている	知らない
全体	3000	73.9	26.1
男性	1490	75.2	24.8
女性	1501	73.0	27.0
回答なし	9	33.3	66.7
男性20代	240	71.7	28.3
男性30代	272	72.4	27.6
男性40代	317	69.4	30.6
男性50代	280	80.0	20.0
男性60代	196	77.6	22.4
男性70代	185	83.8	16.2
女性20代	242	75.6	24.4
女性30代	267	68.2	31.8
女性40代	310	69.0	31.0
女性50代	267	71.2	28.8
女性60代	196	73.5	26.5
女性70代	219	83.1	16.9
回答なし20代	8	37.5	62.5
回答なし30代	1	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	87.7	12.3
(※) 非喫煙者	2388	70.4	29.6
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	93.6	6.4
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	78.3	21.7
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	77.3	22.7
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	64.5	35.5

【比率の差】 n=30以上	
全体+10ポイント以上	■ (Dark Orange)
全体+5ポイント以上	■ (Light Orange)
全体-5ポイント以下	■ (Light Blue)
全体-10ポイント以下	■ (Dark Blue)

Q 1 2 2人以上利用施設における原則屋内禁煙の認知度

Q12 多数の人（2人以上）が利用する施設（事務所、ビル、ホテル、娯楽施設等）は、原則屋内禁煙（基準を満たした喫煙室※でのみ喫煙可）となっていることを知っていますか。

※ここでいう喫煙室とは、喫煙専用室、指定たばこ専用喫煙室を指します。

【全体】

○多数の人（2人以上）が利用する施設（事務所、ビル、ホテル、娯楽施設等）は原則屋内禁煙（基準を満たした喫煙室でのみ喫煙可）となっていることを「知っている」は55.2%と半数を超えた。

【性別】

○「知っている」は男性が59.3%で、女性の51.3%より8ポイント多い。

【男性年代別】

○「知っている」は70代が76.2%と最も多く、次いで60代は65.8%、40代は51.4%と最も少なくなっている。

【女性年代別】

○「知っている」は70代が69.9%と最も多く、20代～50代は4割台と減り、なかでも30代が44.9%と最も少なくなっている。

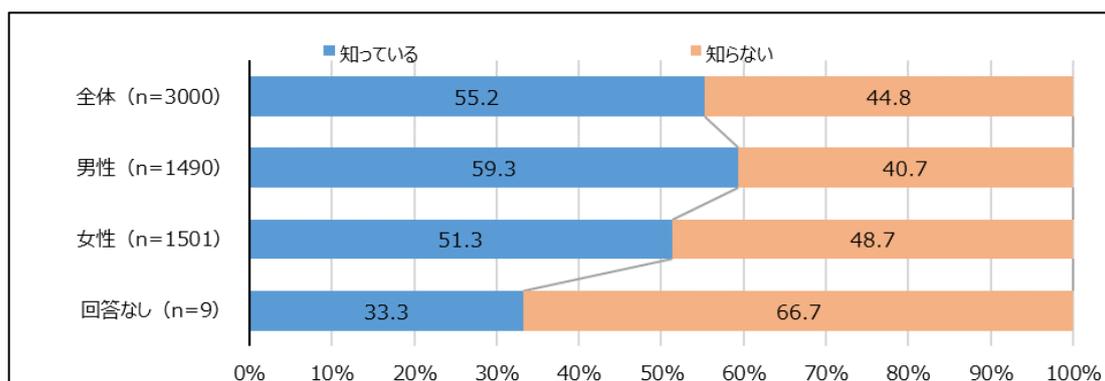
【喫煙者・非喫煙者別】

○「知っている」は喫煙者が71.6%で、非喫煙者の51.0%より20.6ポイントも多い。

【受動喫煙経験の有無別】

○「知っている」は、「喫煙者で受動喫煙経験あり」が77.5%と最も多く、「非喫煙者で受動喫煙経験なし」は46.9%と最も少なくなっている。

Q 1 2 「2人以上利用施設における原則屋内禁煙の認知度」のグラフと集計表



	n数	知っている	知らない
全体	3000	55.2	44.8
男性	1490	59.3	40.7
女性	1501	51.3	48.7
回答なし	9	33.3	66.7
男性20代	240	57.1	42.9
男性30代	272	56.6	43.4
男性40代	317	51.4	48.6
男性50代	280	57.1	42.9
男性60代	196	65.8	34.2
男性70代	185	76.2	23.8
女性20代	242	49.6	50.4
女性30代	267	44.9	55.1
女性40代	310	45.5	54.5
女性50代	267	47.9	52.1
女性60代	196	55.1	44.9
女性70代	219	69.9	30.1
回答なし20代	8	37.5	62.5
回答なし30代	1	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	71.6	28.4
(※) 非喫煙者	2388	51.0	49.0
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	77.5	22.5
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	62.1	37.9
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	55.9	44.1
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	46.9	53.1

【比率の差】 n=30以上	
全体+10ポイント以上	■ (Dark Orange)
全体+5ポイント以上	■ (Light Orange)
全体-5ポイント以下	■ (Light Blue)
全体-10ポイント以下	■ (Dark Blue)

Q 1 2 - 2 屋外等における受動喫煙の配慮義務の認知度

Q12-2 飲食店の屋外等、喫煙を禁止されていない場所において喫煙をする場合でも、受動喫煙を生じさせることがないように周囲の状況に配慮しなければならないことを知っていますか。

【全体】

○屋外等（喫煙を禁止されていない場所）での喫煙時も、受動喫煙をさせないように周囲に配慮する必要のあることを「知っている」は 56.1%と半数を超えた。

【性別】

○「知っている」は男性が 58.8%で、女性の 53.5%より 5 ポイント程多い。

【男性年代別】

○「知っている」は年代により大きな差はみられないものの、70 代が 64.3%と最も多く、50 代が 56.1%と最も少なくなっている。

【女性年代別】

○「知っている」は年代により大きな差はみられないものの、70 代が 58.9%と最も多く、40 代が 48.4%と最も少なくなっている。

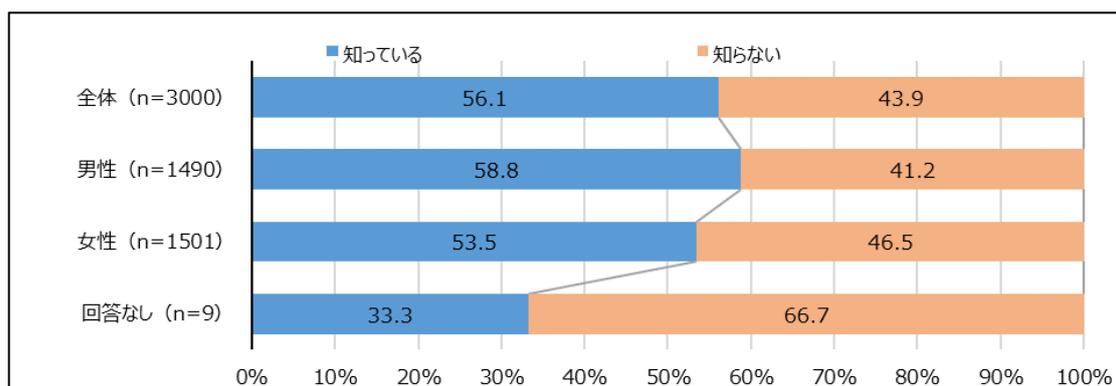
【喫煙者・非喫煙者別】

○「知っている」は喫煙者が 72.9%で、非喫煙者の 51.8%より 21 ポイント程多い。

【受動喫煙経験の有無別】

○「知っている」は、「喫煙者で受動喫煙経験あり」が 77.7%と最も多く、「非喫煙者で受動喫煙経験なし」は 46.2%と最も少なくなっている。

Q 1 2 - 2 「屋内等における受動喫煙の配慮義務の認知度」のグラフと集計表



	n数	知っている	知らない
全体	3000	56.1	43.9
男性	1490	58.8	41.2
女性	1501	53.5	46.5
回答なし	9	33.3	66.7
男性20代	240	58.3	41.7
男性30代	272	60.3	39.7
男性40代	317	56.2	43.8
男性50代	280	56.1	43.9
男性60代	196	60.2	39.8
男性70代	185	64.3	35.7
女性20代	242	59.9	40.1
女性30代	267	51.3	48.7
女性40代	310	48.4	51.6
女性50代	267	53.6	46.4
女性60代	196	50.5	49.5
女性70代	219	58.9	41.1
回答なし20代	8	37.5	62.5
回答なし30代	1	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	72.9	27.1
(※) 非喫煙者	2388	51.8	48.2
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	77.7	22.3
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	65.1	34.9
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	58.2	41.8
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	46.2	53.8

【比率の差】 n=30以上	
全体 + 10ポイント以上	■ (濃いオレンジ)
全体 + 5ポイント以上	■ (薄いオレンジ)
全体 - 5ポイント以下	■ (薄い青)
全体 - 10ポイント以下	■ (濃い青)

Q 1 3 飲食店を含む 2 人以上利用施設における喫煙室・禁煙標識表示義務化の認知度

Q13 飲食店を含む多数の人（2 人以上）が利用する施設（事務所、ビル、ホテル、娯楽施設等）で、喫煙室※を設けた場合、標識の掲示が義務化されていることを知っていますか。

※ここでいう喫煙室とは、喫煙専用室、指定たばこ専用喫煙室、喫煙可能室（2020 年 4 月 1 日時点で既に営業している、施設内の客席部分の床面積が 100 m²以下、中小企業又は個人経営、従業員がいない、の 4 つの要件を全て満たした飲食店のみ設置可能）、喫煙目的室（喫煙場所を提供することを主目的とする等の要件を満たした施設のみ設置可能）のことを指します。

【全体】

○飲食店を含む多数の人（2 人以上）が利用する施設（事務所、ビル、ホテル、娯楽施設等）で喫煙室を設けた場合、標識の表示が義務化されていることを「知っている」は 39.9%とおよそ 4 割となった。

【性別】

○「知っている」は男性が 44.5%で、女性の 35.4%より 9 ポイント程多い。

【男性年代別】

○「知っている」は 20 代が 50.8%と最も多く、50 代は 37.9%と最も少なかった。

【女性年代別】

○「知っている」は 20 代が 41.7%と最も多く、40 代が 29.7%と最も少なくなっている。

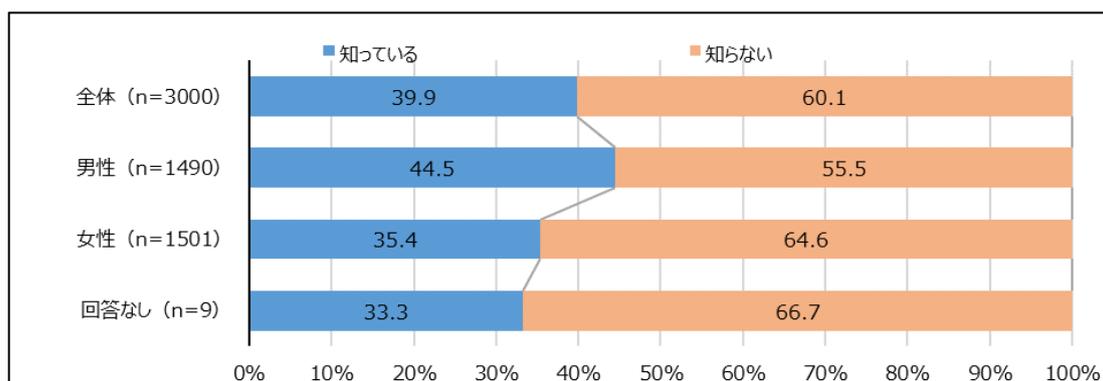
【喫煙者・非喫煙者別】

○「知っている」は喫煙者が 59.5%で、非喫煙者の 34.9%より 24.6 ポイント多い。

【喫煙・非喫煙×受動喫煙経験の有無】

○「知っている」は、「喫煙者で受動喫煙経験あり」が 65.8%と最も多く、「非喫煙者で受動喫煙経験なし」が 30.2%と最も少なくなっている。

Q 1 3 「飲食店を含む2人以上利用施設における喫煙室・禁煙標識表示義務化の認知度」のグラフと集計表



	n数	知っている	知らない
全体	3000	39.9	60.1
男性	1490	44.5	55.5
女性	1501	35.4	64.6
回答なし	9	33.3	66.7
男性20代	240	50.8	49.2
男性30代	272	46.3	53.7
男性40代	317	42.3	57.7
男性50代	280	37.9	62.1
男性60代	196	44.4	55.6
男性70代	185	47.6	52.4
女性20代	242	41.7	58.3
女性30代	267	35.6	64.4
女性40代	310	29.7	70.3
女性50代	267	32.6	67.4
女性60代	196	33.2	66.8
女性70代	219	41.6	58.4
回答なし20代	8	37.5	62.5
回答なし30代	1	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	59.5	40.5
(※) 非喫煙者	2388	34.9	65.1
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	65.8	34.2
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	49.4	50.6
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	40.3	59.7
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	30.2	69.8

【比率の差】 n=30以上	
全体+10ポイント以上	■ (Dark Orange)
全体+5ポイント以上	■ (Light Orange)
全体-5ポイント以下	■ (Light Blue)
全体-10ポイント以下	■ (Dark Blue)

Q 1 3 - 2 屋内全面禁煙の飲食店における禁煙標識掲示義務の認知度

Q13-2 飲食店では、東京都受動喫煙防止条例により、屋内全面禁煙の場合でも、禁煙標識の掲示義務があることを知っていますか。

【全体】

○条例により、屋内全面禁煙の飲食店でも禁煙標識の掲示義務があることを「知っている」は35.5%と4割を下回った。

【性別】

○「知っている」は男性が39.7%で、女性の31.3%より8ポイント程多い。

【男性年代別】

○「知っている」は20代・30代が4割台に対して、40代以上は3割とやや年代差が出た。

【女性年代別】

○「知っている」は20代・30代と70代が3割台に対して、40代～60代は2割台と差が出た。

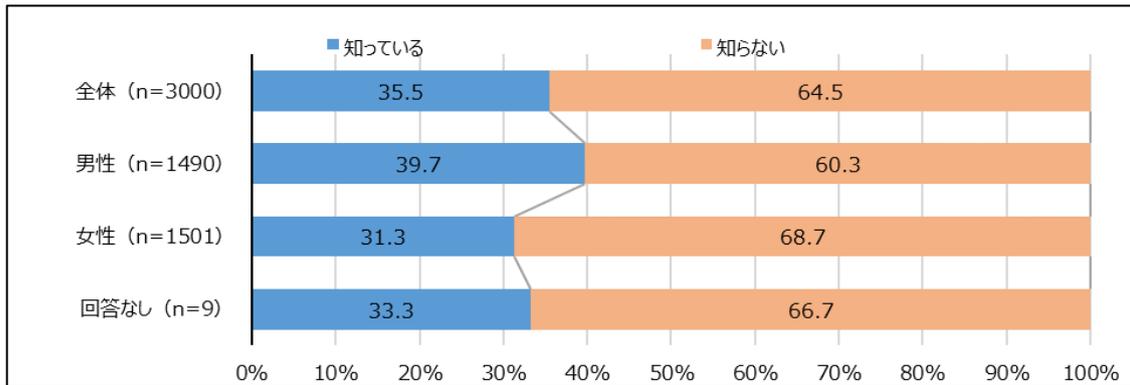
【喫煙者・非喫煙者別】

○「知っている」は喫煙者が53.6%で、非喫煙者の30.9%より22.7ポイント多い。

【受動喫煙経験の有無別】

○「知っている」は、「喫煙者で受動喫煙経験あり」が61.0%と最も多く、「非喫煙者で受動喫煙経験なし」は26.3%と最も少なくなっている。

Q 1 3 - 2 「屋内全面禁煙の飲食店における禁煙標識掲示義務の認知度」のグラフと集計表



	n数	知っている	知らない
全体	3000	35.5	64.5
男性	1490	39.7	60.3
女性	1501	31.3	68.7
回答なし	9	33.3	66.7
男性20代	240	45.0	55.0
男性30代	272	44.9	55.1
男性40代	317	37.2	62.8
男性50代	280	37.1	62.9
男性60代	196	38.8	61.2
男性70代	185	34.6	65.4
女性20代	242	38.8	61.2
女性30代	267	32.6	67.4
女性40代	310	27.1	72.9
女性50代	267	28.5	71.5
女性60代	196	27.0	73.0
女性70代	219	34.7	65.3
回答なし20代	8	37.5	62.5
回答なし30代	1	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	53.6	46.4
(※) 非喫煙者	2388	30.9	69.1
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	61.0	39.0
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	41.7	58.3
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	36.1	63.9
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	26.3	73.7

【比率の差】 n=30以上	
全体 + 10ポイント以上	■ (濃いオレンジ)
全体 + 5ポイント以上	■ (薄いオレンジ)
全体 - 5ポイント以下	■ (薄い青)
全体 - 10ポイント以下	■ (濃い青)

Q 1 4 飲食店頭の表示（「喫煙室の有無」「禁煙」等）の認知度

Q14 あなたは、飲食店の店頭で、喫煙室があるか・禁煙か、などの表示を見たことがありますか。

【全体】

○飲食店頭の表示（「喫煙室の有無」「禁煙」等）を「見たことがある」が68.7%と7割近かった。

【性別】

○「見たことがある」は男性が67.5%、女性が69.9%と女性が若干多い。

【男性年代別】

○「見たことがある」は年代による差はほとんど見られない。

【女性年代別】

○「見たことがある」は70代が76.7%と最も多く、30代が65.9%と最も少なくなっている。

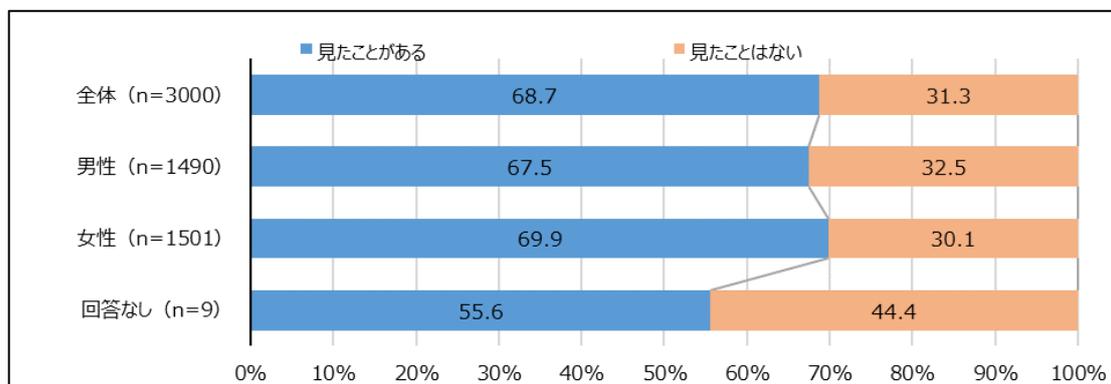
【喫煙者・非喫煙者別】

○「見たことがある」は喫煙者が84.3%で、非喫煙者の64.7%より19.6ポイント多い。

【喫煙・非喫煙×受動喫煙経験の有無】

○「見たことがある」は、「喫煙者で受動喫煙経験あり」が「喫煙者」が91.2%と最も多く、「非喫煙者で受動喫煙経験なし」が55.8%と最も少なくなっている。

Q 1 4 「飲食店頭の表示（「喫煙室の有無」「禁煙」等）の認知度」のグラフと集計表



	n数	見たことがある	見たことはない
全体	3000	68.7	31.3
男性	1490	67.5	32.5
女性	1501	69.9	30.1
回答なし	9	55.6	44.4
男性20代	240	67.5	32.5
男性30代	272	67.3	32.7
男性40代	317	65.9	34.1
男性50代	280	69.3	30.7
男性60代	196	68.9	31.1
男性70代	185	66.5	33.5
女性20代	242	70.2	29.8
女性30代	267	65.9	34.1
女性40代	310	67.7	32.3
女性50代	267	69.7	30.3
女性60代	196	70.9	29.1
女性70代	219	76.7	23.3
回答なし20代	8	62.5	37.5
回答なし30代	1	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	84.3	15.7
(※) 非喫煙者	2388	64.7	35.3
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	91.2	8.8
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	73.2	26.8
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	74.9	25.1
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	55.8	44.2

【比率の差】 n=30以上

全体 + 10ポイント以上	■
全体 + 5ポイント以上	■
全体 - 5ポイント以下	■
全体 - 10ポイント以下	■

Q 1 5 飲食店頭表示（「喫煙室の有無」「禁煙」等）の参考度合

Q15 飲食店の店頭に掲出されている、喫煙室があるか・禁煙か、などの表示を見て、あなたはその店を選ぶ際の参考にしますか。

【全体】

○飲食店頭の表示（「喫煙室の有無」「禁煙」等）を『参考にする』は 68.0%（「必ず参考にする」24.4%、「どちらかといえば参考にする」43.5%」の合計。以下、同じ。）となっている。

【性別】

○『参考にする』は女性が 72.3%で、男性の 63.8%より 8.5 ポイント多い。

【男性年代別】

○『参考にする』は 60 代が 68.9%と最も多く、30 代が 59.6%と最も少なくなっている。「必ず参考にする」は 20 代・30 代が 20%を下回っている。

【女性年代別】

○『参考にする』は 70 代が 79.0%と最も多く、20 代が 62.8%と最も少なくなっている。年代が上がるにつれ増加する傾向が見られる。

【喫煙者・非喫煙者別】

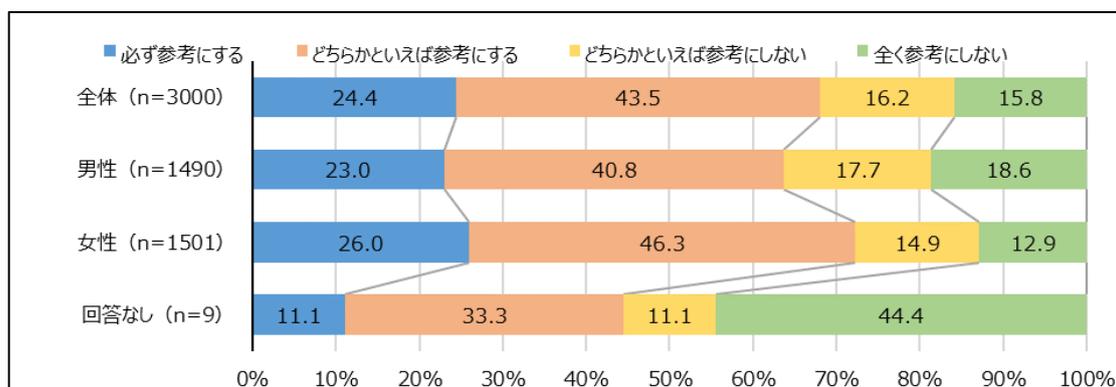
○『参考にする』は「喫煙者」が 77.9%で、非喫煙者の 65.4%より 12.5 ポイント多い。

【喫煙・非喫煙×受動喫煙経験の有無】

○『参考にする』は、「喫煙者で受動喫煙経験あり」が 86.5%と最も多く、「非喫煙者で受動喫煙経験なし」が 56.5%と最も少なくなっている。

○「喫煙者で受動喫煙経験あり」は「必ず参考にする」が 37.7%と最も多く、「全く参考にしない」が 5.3%と最も少なかった。

Q15 「飲食店頭表示（「喫煙室の有無」「禁煙」等）の参考度合」のグラフと集計表



	n数	必ず参考にする	どちらかといえば参考にする	どちらかといえば参考にしない	全く参考にしない
全体	3000	24.4	43.5	16.2	15.8
男性	1490	23.0	40.8	17.7	18.6
女性	1501	26.0	46.3	14.9	12.9
回答なし	9	11.1	33.3	11.1	44.4
男性20代	240	17.9	43.3	20.0	18.8
男性30代	272	18.8	40.8	16.9	23.5
男性40代	317	26.2	36.3	17.4	20.2
男性50代	280	24.3	42.5	15.7	17.5
男性60代	196	24.5	44.4	18.4	12.8
男性70代	185	26.5	38.9	18.4	16.2
女性20代	242	19.8	43.0	18.6	18.6
女性30代	267	22.8	49.1	13.1	15.0
女性40代	310	28.4	45.2	14.2	12.3
女性50代	267	25.8	47.6	15.4	11.2
女性60代	196	25.5	48.0	17.9	8.7
女性70代	219	33.8	45.2	10.5	10.5
回答なし20代	8	12.5	37.5	12.5	37.5
回答なし30代	1	0.0	0.0	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	32.4	45.6	12.1	10.0
(※) 非喫煙者	2388	22.4	43.0	17.3	17.3
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	37.7	48.8	8.2	5.3
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	23.8	40.4	18.3	17.4
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	27.4	48.3	14.9	9.4
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	18.0	38.4	19.4	24.1

【比率の差】 n=30以上

全体+10ポイント以上	■
全体+5ポイント以上	■
全体-5ポイント以下	■
全体-10ポイント以下	■

Q 1 6 法律・条例違反が指導・過料等の対象となることの認知度

Q16 飲食店などが法律や条例に違反した場合、保健所等による指導や過料※等の対象になることを知っていますか。

※違反者に制裁として科せられるもの。金額は違反内容により異なります。

【全体】

○飲食店などが法律や条例に違反した場合、保健所等による指導や過料等の対象になることを「知っている」は 36.9%だった。

【性別】

○「知っている」は男性が 41.7%で、女性の 32.2%より 9.5 ポイント多い。

【男性年代別】

○「知っている」は 20 代・30 代・70 代が 4 割をやや超え、40 代・50 代は 4 割をわずかに下回った。

【女性年代別】

○「知っている」は 20 代が 40.5%で、30 代～60 代で 3 割前後となった。

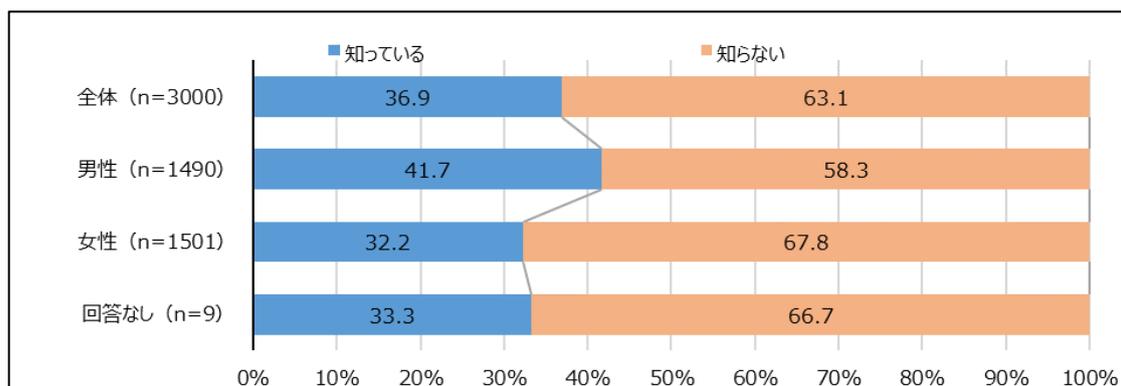
【喫煙者・非喫煙者別】

○「知っている」は喫煙者が 52.9%で、非喫煙者の 32.8%より 20.1 ポイント多い。

【喫煙・非喫煙×受動喫煙経験の有無】

○「知っている」は、「喫煙者で受動喫煙経験あり」が 60.5%と最も多く、「非喫煙者で受動喫煙経験なし」が 26.8 ポイントと最も少なくなっている。

Q 1 6 「法律・条例違反が指導・過料等の対象となることの認知度」のグラフと集計表



	n数	知っている	知らない
全体	3000	36.9	63.1
男性	1490	41.7	58.3
女性	1501	32.2	67.8
回答なし	9	33.3	66.7
男性20代	240	43.8	56.3
男性30代	272	44.9	55.1
男性40代	317	39.7	60.3
男性50代	280	38.6	61.4
男性60代	196	40.8	59.2
男性70代	185	43.8	56.2
女性20代	242	40.5	59.5
女性30代	267	30.0	70.0
女性40代	310	29.0	71.0
女性50代	267	31.8	68.2
女性60代	196	28.1	71.9
女性70代	219	34.2	65.8
回答なし20代	8	37.5	62.5
回答なし30代	1	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	52.9	47.1
(※) 非喫煙者	2388	32.8	67.2
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	60.5	39.5
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	40.9	59.1
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	39.8	60.2
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	26.8	73.2

【比率の差】 n=30以上	
全体+10ポイント以上	■ (Dark Orange)
全体+5ポイント以上	■ (Light Orange)
全体-5ポイント以下	■ (Light Blue)
全体-10ポイント以下	■ (Dark Blue)

Q 1 7 受動喫煙対策の認知度

Q17 あなたは、健康増進法や東京都受動喫煙防止条例等の受動喫煙を防止するための対策についてどの程度知っていますか。（Q9 から Q16 までの設問）

【全体】

○国の健康増進法や東京都受動喫煙防止条例等の受動喫煙対策について『知っている』は 72.8%（※）であった。

※「内容までよく理解」5.5%、「だいたい理解」34.2%、「名前だけは知っている」33.1%の合計。以下、同じ。

○国の健康増進法や東京都受動喫煙防止条例等の受動喫煙対策について『理解している』は 39.7%（※）であった。

※「内容までよく理解」5.5%、「だいたい理解」34.2%の合計。以下、同じ。

【性別】

○『知っている』は男性が 74.6%で、女性の 71.2%より 3.4 ポイント多い。

○『理解している』は男性が 43.2%で、女性の 36.4%より 6.8 ポイント多い。

【男性年代別】

○『知っている』は年代により大きな差は見られないものの 70 代は 77.3%と最も多く、20 代は 72.1%と最も少なかった。

○『理解している』は 20 代～40 代・60 代は 4 割台で、50 代・70 代は 4 割弱となった。

【女性年代別】

○『知っている』は 70 代が 76.7%で、他の年代は 68.1%～72.4%と 7 割前後だった。

○『理解している』は 20 代が 39.7%と最も高く、60 代は 32.1%と最も少なかった。

【喫煙者・非喫煙者別】

○『知っている』は喫煙者が 86.3%で、非喫煙者の 69.4%より 16.9 ポイント多い。

○『理解している』は喫煙者が 54.1%で、非喫煙者の 36.0%より 18.1 ポイント多い。

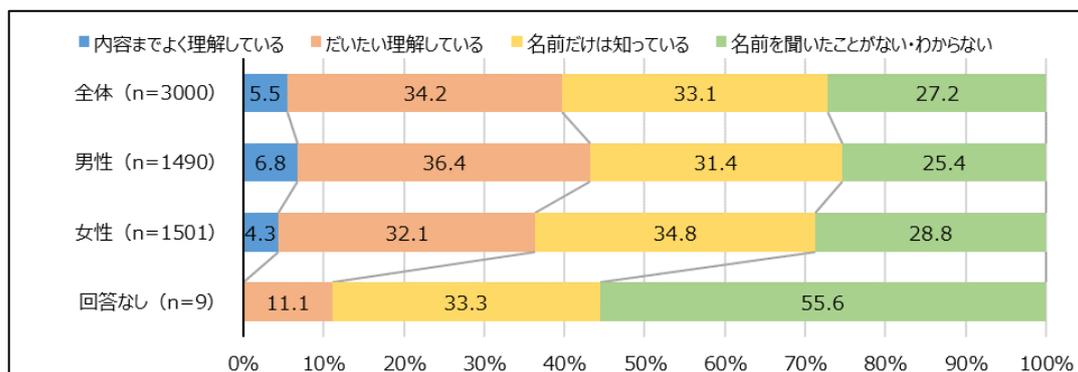
○「名前を聞いたことがない・わからない」は喫煙者が 13.7%で、非喫煙者の 30.6%より 16.9 ポイント少ない。

【受動喫煙経験の有無別】

○『知っている』は、「喫煙者で受動喫煙あり」が 93.9%と最も多く、「非喫煙者で受動喫煙なし」が 60.8%と最も少なくなっている。

○『理解している』は、「喫煙者で受動喫煙あり」が 63.1%と最も多く、「非喫煙者で受動喫煙なし」が 27.9%と最も少なくなっている。

Q 1 7 「受動喫煙対策の認知度」のグラフと集計表



	n数	内容までよく理解している	だいたい理解している	名前だけは知っている	名前を聞いたことがない・わからない
全体	3000	5.5	34.2	33.1	27.2
男性	1490	6.8	36.4	31.4	25.4
女性	1501	4.3	32.1	34.8	28.8
回答なし	9	0.0	11.1	33.3	55.6
男性20代	240	11.3	32.9	27.9	27.9
男性30代	272	7.7	39.0	27.6	25.7
男性40代	317	7.9	36.0	31.9	24.3
男性50代	280	6.1	33.2	33.6	27.1
男性60代	196	3.1	43.4	30.1	23.5
男性70代	185	2.7	35.7	38.9	22.7
女性20代	242	7.9	31.8	28.5	31.8
女性30代	267	4.1	31.8	35.6	28.5
女性40代	310	3.5	30.3	34.2	31.9
女性50代	267	3.7	34.1	34.1	28.1
女性60代	196	4.6	27.6	40.3	27.6
女性70代	219	1.8	37.0	37.9	23.3
回答なし20代	8	0.0	12.5	37.5	50.0
回答なし30代	1	0.0	0.0	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	10.5	43.6	32.2	13.7
(※) 非喫煙者	2388	4.2	31.8	33.4	30.6
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	13.5	49.6	30.8	6.1
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	5.5	34.0	34.5	26.0
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	5.3	40.1	33.9	20.7
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	3.3	24.6	32.9	39.2

【比率の差】 n=30以上	
全体+10ポイント以上	■
全体+5ポイント以上	■
全体-5ポイント以下	■
全体-10ポイント以下	■

Q 1 8 都の受動喫煙防止条例周知広報の認知度

Q18 受動喫煙防止条例を周知するため、都ではさまざまな広報を行ってきました。以下のうち、あなたが見たり、聞いたりしたことがあるものについてお答えください。
(複数回答可)

【全体】

- 受動喫煙防止条例の周知のために都が行っている広報の中で「見たり聞いたりしたことがあるもの」としては、「テレビ」を41.0%と最も多い。
- 以下、2位「インターネット・SNS」21.4%、3位「東京都・区市町村の広報誌」17.5%、4位「ポスター」が13.1%、5位「新聞、雑誌」が12.4%で、以降は10%未満となっている。
- 一方、「見たことがない・聞いたことがない」が33.1%を占めた。

【性別】

- 男女ともに「テレビ」が1位で、それぞれ41.6%、40.4%だった。
- 以下、2位「インターネット・SNS」、3位「東京都・区市町村の広報誌」で4位は男性が「新聞・雑誌」で、女性は「ポスター」だった。
- 男女差が最も大きいのは「インターネット・SNS」で、男性25.0%と、女性の17.9%より7.1ポイント多い。
- 一方、「見たことがない・聞いたことがない」は男性31.5%、女性34.4%だった。

【男性年代別】

- 他の年代と比べて高い項目は、30代で「インターネット・SNS」32.0%、70代で「新聞、雑誌」34.1%、「東京都や区市町村の広報紙」30.3%などであった。
- 一方、「見たことがない・聞いたことがない」は20代が35.8%と最も多く、70代が27.6%と最も少なかった。

【女性年代別】

- 他の年代と比べて高い項目は、70代で「テレビ」が51.6%、「東京都や区市町村の広報紙」が35.6%、「新聞、雑誌」が30.6%などであった。
- 一方、「見たことがない・聞いたことがない」は20代が40.5%と最も多く、70代が25.6%と最も少なかった。概ね年代が上がるにつれ減少傾向にある。

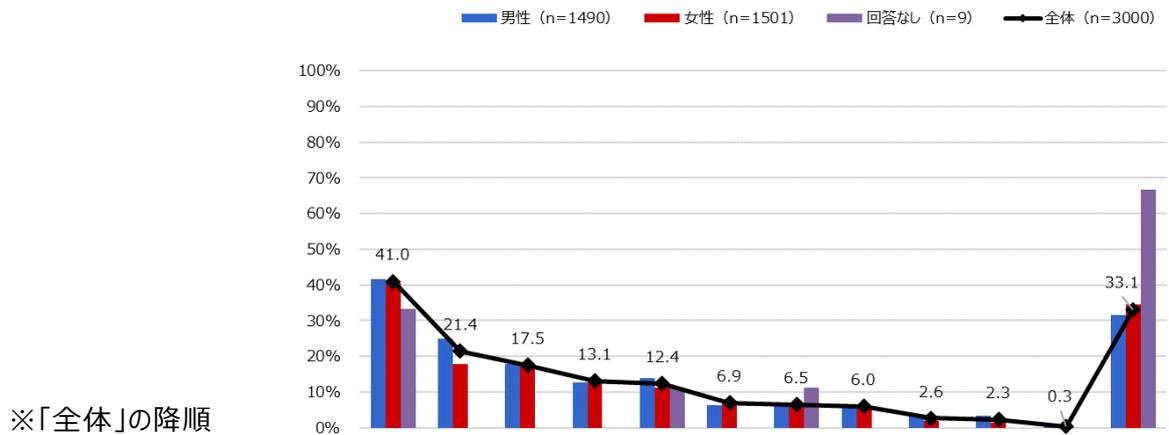
【喫煙者・非喫煙者別】

- 喫煙者・非喫煙者ともに概ね全体と同じ順位であった。差が大きいのは、2位「インターネット・SNS」で喫煙者が29.2%と、非喫煙者の19.3%より1割程多い。
- 一方、「見たことがない・聞いたことがない」は、非喫煙者が35.8%と、喫煙者の22.4%より13.4ポイント多い。

【喫煙・非喫煙×受動喫煙経験の有無】

- 喫煙・非喫煙、受動喫煙経験の有無に関わらず概ね全体と同じ順位であった。
- 「喫煙者で受動喫煙経験あり」が、各媒体ともに他より多い。
- 「見たことがない・聞いたことがない」は「非喫煙者で受動喫煙なし」が43.8%と最も多く、「喫煙者で受動喫煙あり」が14.1%と最も少ない。

Q 1 8 「都の受動喫煙防止条例周知広報の認知度」のグラフと集計表



	n数	テレビ	インターネット・SNS	東京都 区市 町村の 広報紙	ポスター	新聞、 雑誌	家族・ 友人・ 知人な どから 聞いた (口コ ミ)	電車内 ビジョ ン・屋 外ビジョ ン	チャシ	ラジオ	動画 (東京 都作成 の条例 解説動 画等)	その他	見たこと がない・ 聞いた ことがな い
全体	3000	41.0	21.4	17.5	13.1	12.4	6.9	6.5	6.0	2.6	2.3	0.3	33.1
男性	1490	41.6	25.0	17.7	12.7	13.8	6.3	6.7	6.3	3.4	3.4	0.3	31.5
女性	1501	40.4	17.9	17.3	13.7	11.1	7.5	6.2	5.8	1.8	1.3	0.3	34.4
回答なし	9	33.3	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
男性20代	240	40.4	29.6	12.1	12.9	7.5	6.3	9.6	7.1	4.6	4.2	0.0	35.8
男性30代	272	38.6	32.0	16.2	13.2	7.0	8.1	11.8	8.5	4.0	4.8	1.1	29.4
男性40代	317	42.3	30.0	13.2	12.9	10.1	6.9	7.3	6.3	5.4	6.0	0.0	33.1
男性50代	280	42.5	21.1	16.4	12.5	10.4	4.6	2.1	7.1	1.4	1.1	0.4	32.5
男性60代	196	45.4	17.9	24.0	13.3	23.0	5.6	2.0	2.0	1.5	1.5	0.0	28.6
男性70代	185	41.1	13.5	30.3	10.8	34.1	5.9	6.5	5.4	2.7	1.6	0.5	27.6
女性20代	242	29.8	23.1	9.1	11.2	4.5	7.0	9.1	5.4	0.0	1.2	0.0	40.5
女性30代	267	34.1	21.7	9.0	14.2	4.9	7.1	7.1	5.2	1.9	0.7	0.4	38.6
女性40代	310	35.8	19.4	13.9	17.1	6.1	9.0	6.5	8.1	2.6	1.3	1.0	38.7
女性50代	267	47.6	15.0	15.7	11.6	10.9	5.2	4.1	3.4	1.5	1.5	0.0	32.2
女性60代	196	46.9	12.8	26.0	13.8	13.8	6.6	3.1	5.1	2.6	1.5	0.0	27.6
女性70代	219	51.6	13.7	35.6	13.2	30.6	10.0	6.8	7.3	2.3	1.4	0.0	25.6
回答なし20代	8	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5
回答なし30代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	44.4	29.2	18.0	16.2	13.6	10.3	9.8	7.0	3.9	4.6	0.3	22.4
(※) 非喫煙者	2388	40.1	19.3	17.3	12.4	12.1	6.0	5.6	5.8	2.3	1.8	0.3	35.8
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	47.7	35.0	21.5	20.7	14.3	13.5	12.5	9.5	5.0	6.9	0.5	14.1
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	39.1	20.0	12.3	8.9	12.3	5.1	5.5	3.0	2.1	0.9	0.0	35.7
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	42.7	25.0	19.9	16.0	14.1	7.5	7.9	7.6	2.8	2.3	0.4	26.5
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	37.8	14.5	15.2	9.2	10.5	4.8	3.7	4.2	1.8	1.3	0.2	43.8

【比率の差】 n=30以上

- 全体 + 10ポイント以上
- 全体 + 5ポイント以上
- 全体 - 5ポイント以下
- 全体 - 10ポイント以下

Q 1 9は次ページへ

Q 1 9 都の受動喫煙防止条例に対する評価

Q19 東京都の受動喫煙防止条例の取組について、あなたはどのように思いますか。お気持ちに近いものを1つお選びください。

※東京都受動喫煙防止条例は、国の健康増進法と整合を図って制定されており、基本となる制度の理念や施設類型、喫煙室の種類、技術的基準等は同じです。

都の条例は、「人（従業員や20歳未満の者）を守る」という観点から、①従業員がいる飲食店は原則屋内禁煙②飲食店は禁煙の場合も店頭で標識を掲示③小中高校等は敷地内屋外の喫煙場所設置不可（努力義務）を、国の法律に加える形で規定しています。都の条例違反の場合には、都の罰則が科せられます。

【全体】

○都の受動喫煙防止条例について『良い取組だと思う』が90.5%（「良い取組」62.7%、「やや良い取組」27.8%の合計。以下、同じ。）とほとんどを占めた。

【性別】

○『良い取組だと思う』は女性が93.9%で、男性の87.1%より6.8ポイント多い。

【男性年代別】

○『良い取組だと思う』は70代が95.1%と最も多く、20代が84.2%と最も少なくなっている。

○『良い取組だと思う』の内訳をみると、「良い取組だと思う」は70代が75.7%と最も多く、30代が44.5%と最も少なくなっている。概ね年代が上がるにつれ増加傾向にある。

【女性年代別】

○『良い取組だと思う』は60代が97.4%と最も多く、20代が90.9%と最も少なくなっている。

○『良い取組だと思う』の内訳をみると、「良い取組だと思う」は70代が84.0%と最も多く、20代が55.8%と最も少なくなっている。年代が上がるにつれ増加傾向にある。

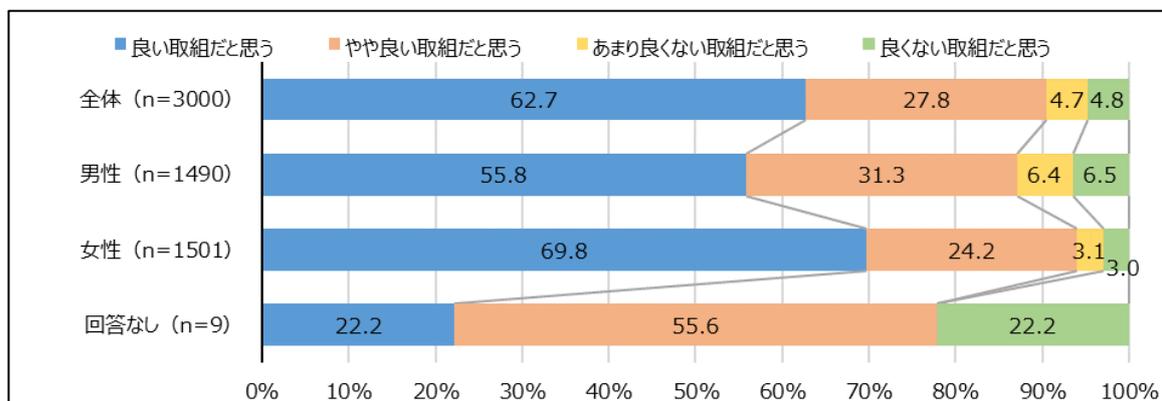
【喫煙者・非喫煙者別】

○『良い取組だと思う』は、非喫煙者が94.1%と、喫煙者の76.5%より17.6ポイント多い。

【喫煙・非喫煙×受動喫煙経験の有無】

○『良い取組だと思う』は、「非喫煙者で受動喫煙あり」が98.1%と最も多く、「喫煙者で受動喫煙なし」は71.5%と最も少なくなっている。

Q 1 9 「都の受動喫煙防止条例に対する評価」のグラフと集計表



	n数	良い取組だと思う	やや良い取組だと思う	あまり良くない取組だと思う	良くない取組だと思う
全体	3000	62.7	27.8	4.7	4.8
男性	1490	55.8	31.3	6.4	6.5
女性	1501	69.8	24.2	3.1	3.0
回答なし	9	22.2	55.6	0.0	22.2
男性20代	240	48.3	35.8	6.7	9.2
男性30代	272	44.5	41.9	5.1	8.5
男性40代	317	56.5	29.3	7.6	6.6
男性50代	280	56.1	29.6	7.9	6.4
男性60代	196	60.2	28.1	6.6	5.1
男性70代	185	75.7	19.5	3.2	1.6
女性20代	242	55.8	35.1	4.1	5.0
女性30代	267	65.2	27.7	2.6	4.5
女性40代	310	67.4	25.8	3.5	3.2
女性50代	267	72.7	21.0	4.1	2.2
女性60代	196	77.0	20.4	2.6	0.0
女性70代	219	84.0	12.8	0.9	2.3
回答なし20代	8	25.0	62.5	0.0	12.5
回答なし30代	1	0.0	0.0	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	35.0	41.5	13.9	9.6
(※) 非喫煙者	2388	69.8	24.3	2.3	3.6
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	42.2	37.4	13.3	7.2
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	23.4	48.1	14.9	13.6
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	75.2	22.9	1.4	0.5
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	65.1	25.5	3.2	6.2

【比率の差】 n=30以上	
全体+10ポイント以上	■
全体+5ポイント以上	■
全体-5ポイント以下	■
全体-10ポイント以下	■

Q 2 0 都の受動喫煙防止条例規制前後と比較した受動喫煙機会の変化

Q20 健康増進法や東京都受動喫煙防止条例により屋内での喫煙が規制がされる前の平成 30 年（2018 年）以前と現在とを比べて、あなたの屋内での受動喫煙の機会はどのように変わりましたか。

【全体】

○屋内での喫煙規制前の平成 30 年（2018 年）以前と現在とを比べて、屋内での受動喫煙の機会はどのように変わったかについて、「屋内での受動喫煙の機会は減った」が 62.0%と 6 割を超えた。

【性別】

○「屋内での受動喫煙の機会は減った」は女性が 66.0%で、男性の 58.0%より 8 ポイント多い。

【男性年代別】

○「屋内での受動喫煙の機会は減った」は 70 代が 78.4%と最も多く、20 代は 44.6%と最も少なかった。年代が上がるにつれて増加傾向にある。

○「屋内での受動喫煙機会は変わらない」は 30 代が 47.8%と最も多く、70 代は 20.5%と最も少なかった。概ね年代が上がるにつれて減少傾向にある。

【女性年代別】

○「屋内での受動喫煙の機会は減った」は 70 代が 75.8%と最も多く、20 代は 55.8%と最も少なかった。年代が上がるにつれて増加傾向にある。

○「屋内での受動喫煙機会は変わらない」は 20 代が 39.7%と最も多く、60 代は 22.4%と最も少なかった。概ね年代が上がるにつれて減少傾向にある。

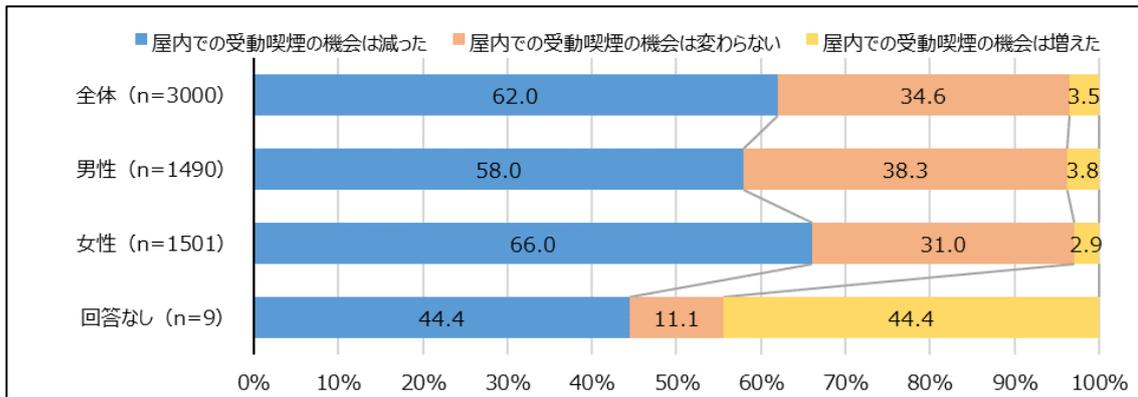
【喫煙者・非喫煙者別】

○「屋内での受動喫煙の機会は減った」は喫煙者 63.9%、非喫煙者 61.5%と大きな差は見られない。

【喫煙・非喫煙×受動喫煙経験の有無】

○「屋内での受動喫煙の機会は減った」は、喫煙・非喫煙ともに「受動喫煙経験あり」の方が多く、喫煙者で受動喫煙経験「あり 70.3%/なし 53.6%」、非喫煙者で受動喫煙経験「あり 67.2%/なし 56.5%」となった。

Q 2 0 「都の受動喫煙防止条例規制前後と比較した受動喫煙機会の変化」のグラフと集計表



	n数	屋内での受動喫煙の機会は減った	屋内での受動喫煙の機会は変わらない	屋内での受動喫煙の機会は増えた
全体	3000	62.0	34.6	3.5
男性	1490	58.0	38.3	3.8
女性	1501	66.0	31.0	2.9
回答なし	9	44.4	11.1	44.4
男性20代	240	44.6	46.3	9.2
男性30代	272	46.7	47.8	5.5
男性40代	317	56.2	41.0	2.8
男性50代	280	63.9	34.6	1.4
男性60代	196	65.3	32.7	2.0
男性70代	185	78.4	20.5	1.1
女性20代	242	55.8	39.7	4.5
女性30代	267	61.8	33.0	5.2
女性40代	310	64.8	32.3	2.9
女性50代	267	65.9	32.6	1.5
女性60代	196	75.5	22.4	2.0
女性70代	219	75.8	23.3	0.9
回答なし20代	8	50.0	12.5	37.5
回答なし30代	1	0.0	0.0	100.0
(※) 喫煙者	612	63.9	33.3	2.8
(※) 非喫煙者	2388	61.5	34.9	3.6
(※) 喫煙者×受動喫煙あり	377	70.3	28.4	1.3
(※) 喫煙者×受動喫煙なし	235	53.6	41.3	5.1
(※) 非喫煙者×受動喫煙あり	1108	67.2	31.5	1.3
(※) 非喫煙者×受動喫煙なし	1280	56.5	37.8	5.7

【比率の差】 n=30以上	
全体+10ポイント以上	Orange
全体+5ポイント以上	Light Orange
全体-5ポイント以下	Light Blue
全体-10ポイント以下	Dark Blue

Q 1 9 – 2 都の受動喫煙防止条例に対する評価の理由

Q20 Q19 での回答の理由をご記入ください。

(1)都の受動喫煙防止条例を「良い取組だと思う」「やや良い取組だと思う」と評価した回答者

(計 2,715 人：喫煙者 468 人、非喫煙者 2,247 人)

■ 良い取組だと思う理由としては、以下が多く挙げられた。

- ◆ 自身や家族・子どもの健康のため、受動喫煙（副流煙）の防止のため
(計 649 件：喫煙者 76 件、非喫煙者 573 件)
- ◆ 規則・条例・ルールや罰則について
(計 443 件：喫煙者 67 件、非喫煙者 376 件)
- ◆ 非喫煙者や周囲への配慮、分煙の必要性
(計 235 件：喫煙者 71 件、非喫煙者 164 件)
- ◆ たばこや煙に対する嫌悪感
(計 212 件：喫煙者 14 件、非喫煙者 198 件)
- ◆ メディアによる周知・P R
(計 76 件：喫煙者 7 件、非喫煙者 69 件)
- ◆ たばこ廃止・たばこの販売・たばこ税
(計 44 件：喫煙者 3 件、非喫煙者 41 件)
- ◆ 世の中・世界的な流れ、当然のこと・必要である
(計 39 件：喫煙者 14 件、非喫煙者 25 件)

■ 以下にコメント内容の例を示す。

◆ 自身や家族・子どもの健康のため、受動喫煙（副流煙）の防止のため

- ・タバコは百害あって一利なし、タバコは健康に悪いため。
- ・非喫煙者への健康リスクを減らせる、健康のため。
- ・喘息の既往症があるので受動喫煙は避けたい。
- ・自分では防ぎづらいため。
- ・受動喫煙対策・防止、受動喫煙のリスクを減らす。

◆ 規則・条例・ルール・罰則について

- ・このような事は行政が率先してやらなければよくはない。
- ・罰則を強化して欲しい。
- ・積極的に厳しく取り組んで欲しい。

※ ◆規則・条例・ルール・罰則についてのコメント内容続き

- ・喫煙者のモラル・マナー向上に繋がるから。
- ・東京都が取り組みをすることは、他方にも影響すると思うから。
- ・路上喫煙・歩きタバコを厳しく取り締まって欲しい。

◆非喫煙者や周囲への配慮、分煙の必要性

- ・喫煙者と非喫煙者がお互い快適に暮らせるような仕組みだから。
- ・吸わない人が不利益を被ることが無いようにしてくれるから。
- ・吸ってる本人だけでなく、周りに影響があることを意識するきっかけにもなるから。
- ・吸いたくない人に迷惑をかけないため。
- ・不快にならない場所が多く作られるのは、喫煙者にとっては嬉しい。
- ・分煙化は必要、どんどん分煙化が進めば喫煙者は喫煙を止めやすくなる。

◆たばこや煙に対する嫌悪感

- ・たばこが嫌い・迷惑・苦手。
- ・たばこのにおいが臭い。
- ・たばこの煙が不快、吸いたくない。

◆世の中・世界的な流れ、当然のこと・必要である

- ・海外では、当たりまえのこと。
- ・国際的にみても日本は遅れていると思うので良い取り組み。
- ・世の中の流れがそうなってるので仕方ない。

◆メディアによる周知・P R

- ・良い取り組みだが、もっと広報を強くするべき。
- ・悪いものは知らせることが大事。
- ・行政の働きかけがあれば、喫煙者に対して意識改革につながる。

◆たばこ廃止・たばこの販売・たばこ税

- ・タバコ類は禁止すべきだ。
- ・海外のように煙草を買うことすら難しくなればいい。

◆その他の意見

- ・タバコを吸う習慣自体が無くなれば、職場で喫煙のため離席する事も無く、業務の生産性が上がる。
- ・タバコを止めてからは、タバコ関連について 特に深くは考えていない。

(2)都の受動喫煙防止条例を「良くない取組だと思う」「あまり良くない取組だと思う」と評価した回答者

(計 285 人：喫煙者 144 人、非喫煙者 141 人)

■ 良くない取組だと思う理由としては、以下が多く挙げられた。

- ◆ 喫煙者は不便・気の毒、喫煙者の権利侵害・喫煙者にも配慮が必要
(計 53 件：喫煙者 46 件、非喫煙者 7 件)
- ◆ 厳しすぎる、やりすぎ
(計 26 件：喫煙者 17 件、非喫煙者 9 件)
- ◆ 喫煙場所の確保も必要
(計 19 件：喫煙者 16 件、非喫煙者 3 件)

■ 以下にコメント内容の例を示す。

◆ 喫煙者は不便・気の毒、喫煙者の権利侵害・喫煙者にも配慮が必要

- ・喫煙の自由、喫煙者にも権利があるのでは。
- ・ルールを守っている喫煙者を無視している。
- ・たばこ税を支払っているのだから、相応の扱いはしてほしい。

◆ 厳しすぎる、やりすぎ

- ・法律より条例が厳しいのは良くない。
- ・規則を作りすぎると喫煙マナーの悪化につながる。

◆ 喫煙場所の確保も必要

- ・禁煙だけでなく喫煙場所も確保してほしい。
- ・喫煙所が減り過ぎて歩きたばこや街中での喫煙が増え、本末転倒。

◆ その他の意見

- ・あまり効果がない、あまり前と変わってない気がするから。
- ・吸う人はどうせ吸う。
- ・認知ができていないため効果がない気がする。
- ・吸えないことで、たばこの売り上げが減るから。

Q 2 1 都の受動喫煙防止条例に対する意見・要望

Q21 『受動喫煙』を防止する施策をすすめるために、東京都へのご意見・ご要望をどんなことでもかまいませんので、ご記入ください。

■意見・要望のコメント内容が多く挙げられていた例を以下に示す。

◆規則・条例について

- ・禁煙の場所を広げてほしい、禁煙を押し進めてほしい。
- ・屋内だけでなく屋外での防止を強めてほしい。
- ・住宅密集地や、集合住宅のベランダ・駐輪場などでの喫煙を制限してほしい。
- ・この規制のまま受動喫煙防止を続けてほしい。
- ・取り組みのおかげで喫煙者をあまり見かけなくなった気がする。
- ・良い取り組み、継続してほしい。

◆喫煙場所の設置・要望

- ・喫煙スペースを増やす。
- ・（喫煙・非喫煙者の）両者を保護できるように、しっかり喫煙スペースを確保してほしい。
- ・喫煙可能エリアをしっかりと定める。
- ・屋外の喫煙所から漏れる煙を何とかしてほしい。
- ・屋外の喫煙所も壁などで囲い、煙が外に漏れないようにすることを必須にしてほしい。
- ・喫煙できる場所を分かりやすく表示してあると良いと思う。

◆取り締まり・罰則の強化

- ・取り締まりの強化、もっと厳しく取り締まる。
- ・罰則の強化、罰金の金額を増やす。
- ・定期的な調査やチェックを行う。
- ・監視の目が行き届かない場所では、今でもかなりの人が喫煙場所以外で喫煙している。

■意見・要望のコメント内容が多く挙げられていた例の続き

◆路上喫煙（歩きタバコ）やポイ捨ての取り締まり強化

- ・歩きタバコ、ポイ捨てに対してもっと厳しく指導してほしい。
- ・路上喫煙等のマナーの悪い人間が多すぎる。
- ・路上、歩きタバコを全面禁止にしてほしい。
- ・煙草の火の危険、灰のちらばり、煙草のポイ捨てなどを防いでほしい。
- ・移動しながらの喫煙を禁止、注意喚起してほしい。

◆行政・メディアによる周知・P R

- ・テレビ、インターネット、ポスター、動画、広告で周知してほしい。
- ・広報、周知活動を増やしてほしい。
- ・「受動喫煙」「喫煙」の影響や健康被害、害がどれほどあるのかをもっと周知させるべきと思う。
- ・観光客にも周知してほしい。
- ・喫煙者への周知徹底。
- ・禁煙教育、啓蒙活動、広報活動の実施。

◆たばこ廃止・たばこの販売・たばこ税について

- ・タバコの値段・税を大幅にあげる。
- ・たばこを買える場所をなくす、吸える場所をなくす。
- ・健康被害があるのだから、販売を中止した方が良い。
- ・アメリカやヨーロッパのように税率を上げたり、全面禁煙にしてほしい。

◆喫煙者への配慮

- ・喫煙者の居場所は残してほしい。
- ・喫煙してる人が喫煙をやめようと思えるように対策を考えることも必要かと思う。
- ・禁煙できた人への奨励金や補助。
- ・吸いたい人、吸いたくない人がどちらもハッピーになるように施策を進めてほしい。
- ・喫煙者をもう少し優遇してあげれば、喫煙者も受動喫煙を気にしてくれると思う。

■ 意見・要望のコメント内容が多く挙げられていた例の続き

◆ 飲食店の対策

- ・飲食店は完全に禁煙してほしい。
- ・受動喫煙対策を実施した飲食店に補助金を出して、幅広く展開する。
- ・お店の中でも喫煙と禁煙の席をどちらも用意すべき。その際、禁煙席の方に煙などがいかないように対策をする。
- ・施設やお店の入口にわかるようにポスターなどを貼って周知させる。
- ・分煙してある店でも煙が流れてくるようなところもあるため、飲食店では全面禁煙にしてほしい。

◆ その他の意見

- ・健康のために続けてほしい。
- ・小さい子供たちの健康、未来を守るために、健康に良い対策は進めてほしい。
- ・周囲の人のことを喫煙者は考えなければならない。
- ・そもそも有害物質をもっと減らしたタバコを開発するようメーカーに促すべきだと思う。
- ・吸う人の意識を変えたり、吸う前の年齢の人に対する教育が大事だと思われる。
- ・個人的に自覚してもらえない。
- ・たばこに代わる物が見つかるといい。

<参考（調査票）>

あなたの性別をお知らせください。

【必須】

- 男性
- 女性
- 回答しない

あなたの年齢をお知らせください。

【必須】

※半角英数字で入力してください。

歳

あなたのお住まいをお知らせください。

【必須】

- 東京都
- 東京都以外

あなたのお住まいの地域をお知らせください。

【必須】

- 区中央部（千代田区、中央区、港区、文京区、台東区）
- 区南部（品川区、大田区）
- 区西南部（目黒区、世田谷区、渋谷区）
- 区西部（新宿区、中野区、杉並区）
- 区西北部（豊島区、北区、板橋区、練馬区）
- 区東北部（荒川区、足立区、葛飾区）
- 区東部（墨田区、江東区、江戸川区）
- 西多摩（青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町）
- 南多摩（八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市）
- 北多摩西部（立川市、昭島市、国分寺市、国立市、東大和市、武蔵村山市）
- 北多摩南部（武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市）
- 北多摩北部（小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市）
- 島しょ（大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村）

あなたの婚姻状況をお知らせください。

【必須】

- 未婚
- 既婚

あなたは、お子様がいらっしゃいますか。

【必須】

- いる
- いない

あなたの職業をお知らせください。

【必須】

- 会社員（事務系）
- 会社員（技術系）
- 会社員（その他）
- 経営者・役員
- 自営業
- 自由業
- 公務員
- 専業主婦（主夫）
- パート・アルバイト
- 学生
- その他
- 無職

Q1 あなたは、「たばこ（加熱式たばこ※を除く。紙巻きたばこ、葉巻、水たばこ等）」を吸いますか。

【必須】

※「加熱式たばこ」とは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を燃焼させず、専用機器を用いて電気加熱することで蒸気を生じさせるもの。加熱の方法や温度などは製品ごとに異なります。
例：アイコス、グロー、プルーム・テック等
(電子タバコは含みません)

- 毎日吸っている
- ときどき吸う日がある
- 以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない
- 吸わない

Q2 あなたは、「加熱式たばこ※」を吸いますか。

【必須】

※「加熱式たばこ」とは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を燃焼させず、専用機器を用いて電気加熱することで蒸気を生じさせるもの。加熱の方法や温度などは製品ごとに異なります。
例：アイコス、グロー、プルーム・テック等
(電子タバコは含みません)

- 毎日吸っている
- ときどき吸う日がある
- 以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない
- 吸わない

Q1、Q2のいずれか、または両方で、「毎日吸っている」または「ときどき吸う日がある」と回答した方にお尋ねします。

Q3 あなたは、今後、禁煙するつもりはありますか。

【必須】

- 禁煙する予定がある（時期も決まっている）
- いつか禁煙するつもりがある（時期は決まっていない）
- 禁煙するつもりはない

Q3で「禁煙する予定がある（時期も決まっている）」または「いつか禁煙するつもりがある（時期は決まっていない）」と回答した方にお尋ねします。

- 法律・条例が改正され、屋内が原則禁煙となったため
- 自分の健康のため
- 家族・パートナーの健康のため
- 家族・パートナーにやめるように言われたため
- 妊娠した・子どもが産まれる（産まれた）ため
- 職場で禁煙を求められたため
- 喫煙できる場所が減ったため
- たばこ代が高いため
- においが気になるため
- その他

Q3で「禁煙する予定がある（時期も決まっている）」または「いつか禁煙するつもりがある（時期は決まっていない）」と回答した方にお尋ねします。

Q3_2 禁煙しようとする場合には、どのような方法で行いますか。あてはまるものを全てお選びください。(複数回答可)

【必須】

- 自分の意志のみで行う
- 薬局で買える禁煙補助剤（ニコチンガム・パッチ等）
- 飲食物で粉らわせる（飴、ガム、缶コーヒー等）
- 禁煙グッズ（離煙パイプ、電子タバコ等）
- 禁煙外来の受診
- 禁煙アプリ
- その他

Q4 あなたは、COPD（シーオーピーディー）（慢性閉塞性肺疾患〈まんせいへいそくせいはいしつかん〉）※という病気を知っていますか。

【必須】

※「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」とは、有害物質を長い間吸引したことで肺が壊れる進行性の病気です。「肺気腫」や「慢性気管支炎」と言われていた疾患も、COPDに含まれます。COPDの原因の約90%は、たばこの煙です。重症化すると、少し動くだけでも息切れしてしまい、酸素吸入が必要になるなど、生活に大きく影響してしまいます。思い当たる点があれば、医療機関を受診しましょう。

- 知っている
- 内容までは知らなかったが、言葉は聞いたことがある
- 知らない

Q4_1 あなたは、長期の喫煙習慣により、COPD（慢性閉塞性肺疾患）になるリスクが高くなることを知っていますか。

【必須】

- 知っている
- 知らない

Q4_2 あなたは、日本で、毎年1万人を超える方がCOPD（慢性閉塞性肺疾患）で亡くなっていること※を知っていますか。

【必須】

※男性に多い傾向があり、令和3年には日本の男性の死因順位の第9位でした。（令和3年人口動態統計概況）なお、世界でも、1990年には死因の第6位だったCOPDが、2019年には第3位になっています。（WHO）

- 知っている
- 知らない

Q4で「知っている」「内容までは知らなかったが、言葉は聞いたことがある」と回答した方にお尋ねします。

Q4_3 あなたは、COPD（慢性閉塞性肺疾患）について、あなたが見たり、聞いたりしたことがあるものについて教えてください。（複数回答可）

【必須】

- テレビ
- 新聞、雑誌
- インターネット・SNS
- ラジオ
- 競馬場の屋外ビジョン
- 床屋の席前モニター
- コンビニエンスストアのレジ横モニター
- 東京都や区市町村の広報紙
- チラシ・パンフレット
- ポスター
- 動画（東京都作成の動画等）
- 家族・友人・知人などから聞いた（口コミ）
- その他

Q5 あなたは、室内又はこれに準ずる環境における受動喫煙※が健康に影響することを知っていますか。

【必須】

※「受動喫煙」とは、他人のたばこの煙を吸わされることをいいます。たばこの煙は、喫煙者が吸い込む主流煙と、火がついている部分から立ちのぼる副流煙、喫煙者が吐き出す呼出煙に分けられ、副流煙と呼出煙を吸い込むことを受動喫煙といいます。中でも、副流煙にはニコチンや一酸化炭素などの有害物質や発がん性物質が主流煙の何倍も含まれています。

- 知っている
- 知らない

Q6 あなたは、おおよそ1年の間に受動喫煙※を経験しましたか。

【必須】

※「受動喫煙」とは、他人のたばこの煙を吸わされることをいいます。
たばこの煙は、喫煙者が吸い込む主流煙と、火がついている部分から立ちのぼる副流煙、喫煙者が吐き出す呼出煙に分けられ、副流煙と呼出煙を吸い込むことを受動喫煙といいます。
中でも、副流煙にはニコチンや一酸化炭素などの有害物質や発がん性物質が主流煙の何倍も含まれています。

- 経験した
 経験しなかった

Q6で「経験した」と回答した方にお尋ねします。

Q6_1 受動喫煙を経験した場所は主に都内でしたか。

【必須】

- 都内
 都外

Q6で「経験した」と回答した方にお尋ねします。

Q6_2 どこで受動喫煙を経験しましたか。屋内※で受動喫煙を経験した場所であてはまるものをお選びください。（複数回答可）

【必須】

※「屋内」とは、屋根があり、かつ、側壁が概ね半分以上覆われているものの内部を指します。これに該当しない場所が「屋外」です。

- 日中に利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の屋内の場所
 夜利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の屋内の場所
 商業施設（百貨店・デパート・ショッピングモール・スーパー・小売店等）の屋内の場所
 宿泊施設（ホテル・旅館等）の屋内の場所
 娯楽施設（パチンコ店・ゲームセンター等）の屋内の場所

Q6で「経験した」と回答した方にお尋ねします。

Q6_3 どこで受動喫煙を経験しましたか。屋外※で受動喫煙を経験した場所であてはまるものをお選びください。（複数回答可）

【必須】

※「屋外」とは、屋根があり、かつ、側壁が概ね半分以上覆われているものの内部を指します。これに該当しない場所が「屋外」です。

- 日中に利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の敷地内屋外
 夜利用した飲食店（レストラン・喫茶店・居酒屋等）の敷地内屋外
 商業施設（百貨店・デパート・ショッピングモール・スーパー・小売店等）の敷地内屋外
 宿泊施設（ホテル・旅館等）の敷地内屋外
 娯楽施設（パチンコ店・ゲームセンター等）の敷地内屋外
 駅・空港等の敷地内屋外
 保育所・幼稚園・学校等の敷地内屋外
 官公庁・病院等の敷地内屋外
 職場の敷地内屋外
 路上
 その他の屋外の場所
 屋外では経験なし

Q7 あなたは他人のたばこの煙をどう感じますか。

【必須】

- 特に何とも思わない
- でできれば受けたくない
- 不快感を覚える
- 強い不快感を覚える
- 体調不良を生じるほど不快感を覚える
- その他

Q8 あなたは、「加熱式たばこ※」の受動喫煙による健康影響のリスクはどの程度あると思いますか。お気持ちに近いものを1つお選びください。

【必須】

※「加熱式たばこ」とは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を燃焼させず、専用機器を用いて電気で加熱することで蒸気を発生させるもの。加熱の方法や温度などは製品ごとに異なります。
例：アイコス、グロー、ブルーム・テック等
(電子タバコは含みません)

- 加熱式たばこは、紙巻きたばこと同レベルで周囲の人に受動喫煙による健康影響のリスクを与える
- 加熱式たばこは、紙巻きたばこと比べて、周囲の人への受動喫煙による健康影響のリスクが小さい
- 加熱式たばこは、紙巻きたばこと比べて、周囲の人への受動喫煙による健康影響のリスクがかなり小さい
- 加熱式たばこは、周囲の人への受動喫煙による健康影響のリスクがほぼ無い

Q9 行政機関や病院などでは、屋内禁煙となっていることを知っていますか。

【必須】

- 知っている
- 知らない

Q10 保育所・幼稚園・学校などは、敷地内禁煙（屋内に加え、東京都受動喫煙防止条例で、敷地内の屋外も喫煙不可（努力義務））となっていることを知っていますか。

【必須】

- 知っている
- 知らない

Q11 飲食店は、原則屋内禁煙（基準を満たした喫煙室※でのみ喫煙可）となっていることを知っていますか。

【必須】

※ここでいう喫煙室とは、喫煙専用室、指定たばこ専用喫煙室、喫煙可能室（2020年4月1日時点で既に営業している、施設内の客席部分の床面積が100㎡以下、中小企業又は個人経営、従業員がいない、の4つの要件を全て満たした飲食店のみ設置可能）、喫煙目的室（喫煙場所を提供することを主目的とする等の要件を満たした施設のみ設置可能）のことを指します。

- 知っている
- 知らない

Q12 多数の人（2人以上）が利用する施設（事務所、ビル、ホテル、娯楽施設等）は、原則屋内禁煙（基準を満たした喫煙室※でのみ喫煙可）となっていることを知っていますか。

【必須】

※ここでいう喫煙室とは、喫煙専用室、指定たばこ専用喫煙室を指します。

- 知っている
- 知らない

Q12_2 飲食店の屋外等、喫煙を禁止されていない場所において喫煙をする場合でも、受動喫煙を生じさせることがないよう周囲の状況に配慮しなければならないことを知っていますか。

【必須】

- 知っている
- 知らない

Q13 飲食店を含む多数の人（2人以上）が利用する施設（事務所、ビル、ホテル、娯楽施設等）で、喫煙室※を設けた場合、標識の掲示が義務化されていることを知っていますか。

【必須】

※ここでいう喫煙室とは、喫煙専用室、指定たばこ専用喫煙室、喫煙可能室（2020年4月1日時点で既に営業している。施設内の客席部分の床面積が100㎡以下、中小企業又は個人経営、従業員がいない、の4つの要件を全て満たした飲食店のみ設置可能）、喫煙目的室（喫煙場所を提供することを主目的とする等の要件を満たした施設のみ設置可能）のことを指します。

- 知っている
- 知らない

Q13_2 飲食店では、東京都受動喫煙防止条例により、屋内全面禁煙の場合でも、禁煙標識の掲示義務があることを知っていますか。

【必須】

- 知っている
- 知らない

Q14 あなたは、飲食店の店頭で、喫煙室があるか・禁煙か、などの表示を見たことがありますか。

【必須】

- 見たことがある
- 見たことはない

Q15 飲食店の店頭に掲出されている、喫煙室があるか・禁煙か、などの表示を見て、あなたはその店を選ぶ際の参考にしますか。

【必須】

- 必ず参考にする
- どちらかといえば参考にする
- どちらかといえば参考にしない
- 全く参考にしない

Q16 飲食店などが法律や条例に違反した場合、保健所等による指導や過料※等の対象になる場合があることを知っていますか。

【必須】

※違反者に制裁として科せられるもの。金額は違反内容により異なります。

- 知っている
- 知らない

Q17 あなたは、健康増進法や東京都受動喫煙防止条例等の受動喫煙を防止するための対策についてのどの程度知っていましたか。
(Q9からQ16までの設問)

【必須】

- 内容までよく理解していた
- だいたい理解していた
- 名前だけは知っていた
- 名前を聞いたことがない・わからない

Q18 東京都受動喫煙防止条例を周知するため、都ではさまざまな広報を行ってきました。以下のうち、あなたが見たり、聞いたりしたことがあるものについてお答えください。（複数回答可）

【必須】

- テレビ
- 新聞、雑誌
- インターネット・SNS
- ラジオ
- 電車内ビジョン・屋外ビジョン
- 東京都や区市町村の広報紙
- チラシ
- ポスター
- 動画（東京都作成の条例解説動画等）
- 家族・友人・知人などから聞いた（口コミ）
- その他
- 見たことがない・聞いたことがない

Q19 東京都受動喫煙防止条例※の取組について、あなたはどのように思いますか。お気持ちに近いものを1つお選びください。

【必須】

※東京都受動喫煙防止条例は、国の健康増進法と整合を図って制定されており、基本となる制度の理念や施設類型、喫煙室の種類、技術的基準等は同じです。
都の条例は、「人（従業員や20歳未満の者）を守る」という観点から、①従業員がいる飲食店は原則屋内禁煙 ②飲食店は禁煙の場合も店頭に標識を掲示 ③小中高校等は敷地内屋外の喫煙場所設置不可（努力義務）を、国の法律に加える形で規定しています。
都の条例違反の場合には、都の罰則が科せられます。

- 良い取組だと思う
- やや良い取組だと思う
- あまり良くない取組だと思う
- 良くない取組だと思う

Q19_2 前問（東京都受動喫煙防止条例の取組について）で「[Q29](#)」とお答えの理由をご記入ください。

自由回答

Q20 健康増進法や東京都受動喫煙防止条例により屋内での喫煙が規制される前の平成30年（2018年）以前と現在とを比べて、あなたの屋内での受動喫煙の機会はどのように変わりましたか。

【必須】

- 屋内での受動喫煙の機会は減った
- 屋内での受動喫煙の機会は変わらない
- 屋内での受動喫煙の機会は増えた

Q21 『受動喫煙』を防止するための施策をすすめるために、東京都へのご意見・ご要望をどんなことでもかまいませんので、ご記入ください。

自由回答